

B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスによる肝がん又は重度肝硬変の患者の実態調査

研究代表者 八橋 弘 独立行政法人国立病院機構長崎医療センター 副院長

研究要旨

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の対象となるB型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスによる肝がん又は重度肝硬変の患者の実態について明らかにする為に、2012年2月1日～7月31日までの期間に、34施設に通院治療を行っているB型、C型肝炎ウイルスに起因する慢性肝炎、肝硬変、肝がんの患者及び脂肪肝やその他の肝疾患の患者6331名を対象とした患者アンケート調査結果の再分析をおこなった。

6331名中、B型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者数は349名（5.5%）と肝がん患者数は558名（8.8%）であり、計907名（14.3%）の背景因子を解析した。907名の中で、年収が明らかな779名を対象として年収300万円以下の条件で絞り込むと507名（65.1% = 507/779）が抽出された。

年収300万円以下が確認されたB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者と肝がん患者を合わせた対象者（507名）の実態は、平均年齢は、70.3歳、最近1年間の入院回数で3回以上の対象者数（頻度）は76名（15.7%）、最近1年間の通院回数で週1回以上の対象者数は75名（16.2%）、肝臓病の治療のために最近1か月間に支払った医療費総額で5万円以上の対象者数は44名（9.6%）、肝臓病の治療のために最近1年間に支払った医療費の総額で100万円以上の対象者数は9名（2.0%）で、10万円未満の対象者数193名（43.2%）、医療保険の種類について国民健康保険の対象者数（頻度）は、272名（61.3%）、年金の受給者の対象者数（頻度）は、416名（85.4%）、生活保護受給者数（頻度）は36名（7.1%）、肝機能障害による身体障害者手帳の取得者数は14名（2.8%）、生活保護受給者ないし肝機能障害による身体障害者手帳の取得者の人数（頻度）は50名（9.9%）、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じているかを5つのカテゴリーに区分して尋ねたところ、大変苦しい178名（15.7%）、やや苦しい176名（35.3%）、普通228名（45.8%）、ややゆとり15名（3.0%）、大変ゆとり1名（0.2%）の人数（頻度）であった。

我が国のB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者数と肝がん患者数を145714名と仮定して、年収300万円以下であること、入院回数で3回以上、これらの2つの条件を満たす者の頻度を8.4%として算出すると12239名の患者が、今回の事業での公費負担対象と考えられた。

A . 背景と目的

平成30年12月から、B型・C型肝炎ウイルスに起因する肝がん・重度肝硬変患者の特徴を踏まえ、患者の医療費の負担の軽減を図りつつ、患者からの臨床データを収集し、肝がん・重度肝硬変の予後の改善や生活の質の向上、肝がんの再発の抑制などを目指した、肝がん・重度肝硬変治療にかかるガイドラインの作成など、肝がん・重度肝硬変の治療研究を促進するための肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業が開始された。本事業はB型肝炎ウイルスまたはC型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変の患者の医療費の自己負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みを構築することを目的としている。

給付対象となる医療としては、肝がん・重度肝硬変入院関係医療のうち、当該医療の行われた月以前の12月以内に、保険医療機関において肝がん・重度肝硬変入院関係医療を受けた月数が既に3月以上（連続した3か月でなくても可）の場合に、4月目以降に都道府県知事が指定する指定医療機関に入院して高額療養費の算定基準額を超えた月に係る医療費に対し、公費負担がおこなわれる。

対象患者の要件は、

B型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスによる肝がん又は重度肝硬変の患者、
医療保険各法に規定する被保険者又は被扶養者並びに高齢者の医療の確保に関する法律の規定による被保険者
世帯年収が約370万円以下
研究班への臨床情報提供に同意（臨床調査個人票及び同意書を提出）
医療の給付を受けようとする日の属する月以前の12月以内に、保険医療機関において肝がん・重度肝硬変入院関係医療（高額療養費が支給されるものに限る。）を受けた月数が既に3月以上（連続した3か月でなくても可）ある

とされている。

本研究班では、肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の対象となるB型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスによる肝がん又は重度肝硬変の患者の実態について明らかにする為に、過去におこなった患者アンケート調査結果の再分析をおこなった。

B . 方法

病態別の患者の実態把握のための調査および肝炎患者の病態に即した相談に対応できる相談員育成のための研修プログラム策定に関する研究班では、2012年2月1日～7月31日までの期間、国立病院機構病院及び国際医療センター病院34施設に通院治療を行っているB型、C型肝炎ウイルスに起因する慢性肝炎、肝硬変、肝がんの患者及び脂肪肝やその他の肝疾患の患者を合わせた9,952名に患者アンケートを配布し、そのうち6,331名から郵送でアンケートを回収した。下記の3点に注目して集計をおこない解析した。なお、主な解析は、トータルナレッジ（Total Knowledge Inc.）社に委託した。

1. B型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者と肝がん患者のそれぞれの実態

回収された6331名のアンケート調査の中から、B型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者の349名（5.5%）と肝がん患者558名（8.8%）の計907名（14.3%）について再解析をおこなった（図1）。非代償性肝硬変患者の基準は、アンケート内容の下記のD-1からD-6の6項目のうちひとつでも合致した場合とした。

D-1 吐血したことがある。

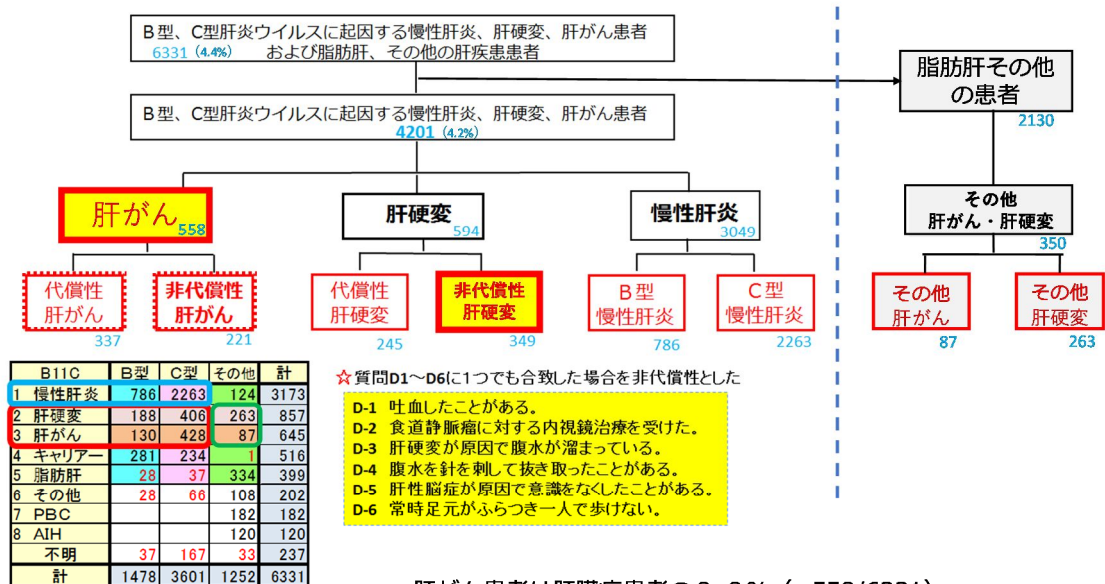
D-2 食道静脈瘤に対する内視鏡（胃カメラ）治療を受けたことがある。

D-3 肝硬変が原因でお腹に水（腹水）が溜まっている

D-4 腹水を針を刺して抜き取ったことがある。

D-5 肝性脳症で、意識をなくしたことがある。

D-6 足元がふらついて一人で歩けない。



肝がん患者は肝臓病患者の8.8% (=558/6331)

非代償性肝硬変患者は5.5% (=349/6331)

図1.解析対象患者の選択 (1)

2. 年収300万円以下が確認されたB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者と肝がん患者のそれぞれの実態

更にB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者 349名と肝がん患者 558名の

中から年収300万円以下が確認された対象についても、それぞれ分析をおこなった。年収300万円以下が確認された対象者数は、非代償性肝硬変患者数は198名、肝がん患者数は309名である(表1)。

年収	肝がん	非代償性肝硬変	計
～300万円	309	198	507
300-600万円	134	73	207
600-1000万円	38	27	65
計	481	298	779

年収	肝がん	非代償性肝硬変	計
～300万円	64.2%	66.4%	65.1%
300-600万円	27.8%	24.5%	26.6%
600-1000万円	7.9%	9.1%	8.3%

表1.解析対象患者の選択 (2)

3. 年収300万円以下が確認されたB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者と肝がん患者を合わせた対象者の実態

年収300万円以下が確認されたB型、C型肝炎

ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者198名と肝がん患者数309名を合わせた507名の実態について分析をおこなった。

C. 結果

1. B型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性
肝硬変患者と肝がん患者のそれぞれの実態

非代償性肝硬変患者 (N=349) と肝がん患者 (N=558) の平均年齢は、それぞれ66.8歳と71.0歳であった (図2) (図3) (図4)。

A-2 あなたの出生年月を教えてください (→平均年齢)

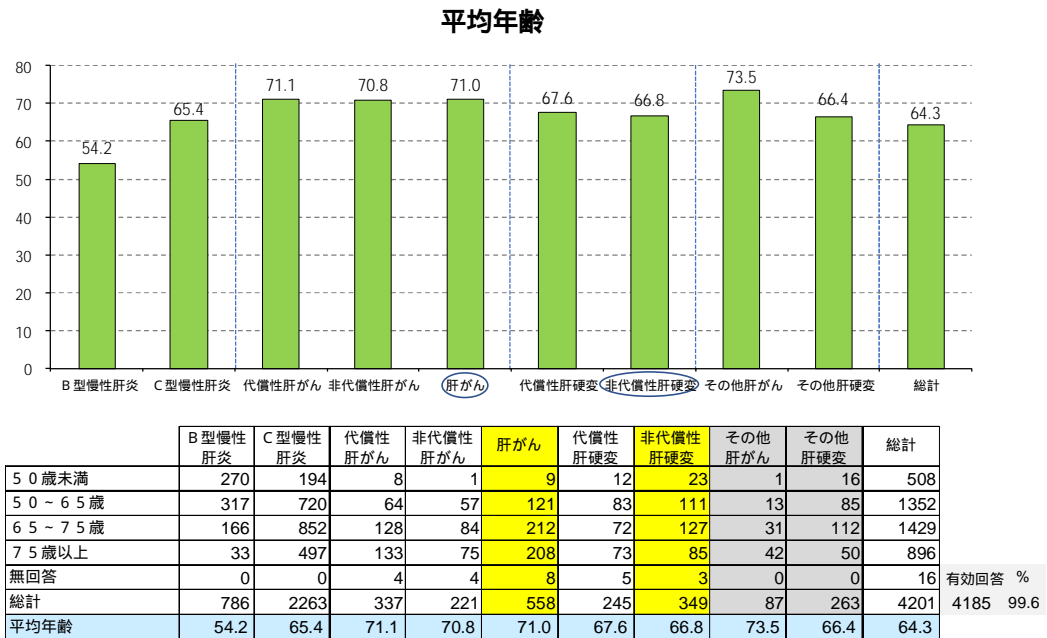


図2.平均年齢

A-2 あなたの出生年月を教えてください (→年代分布)

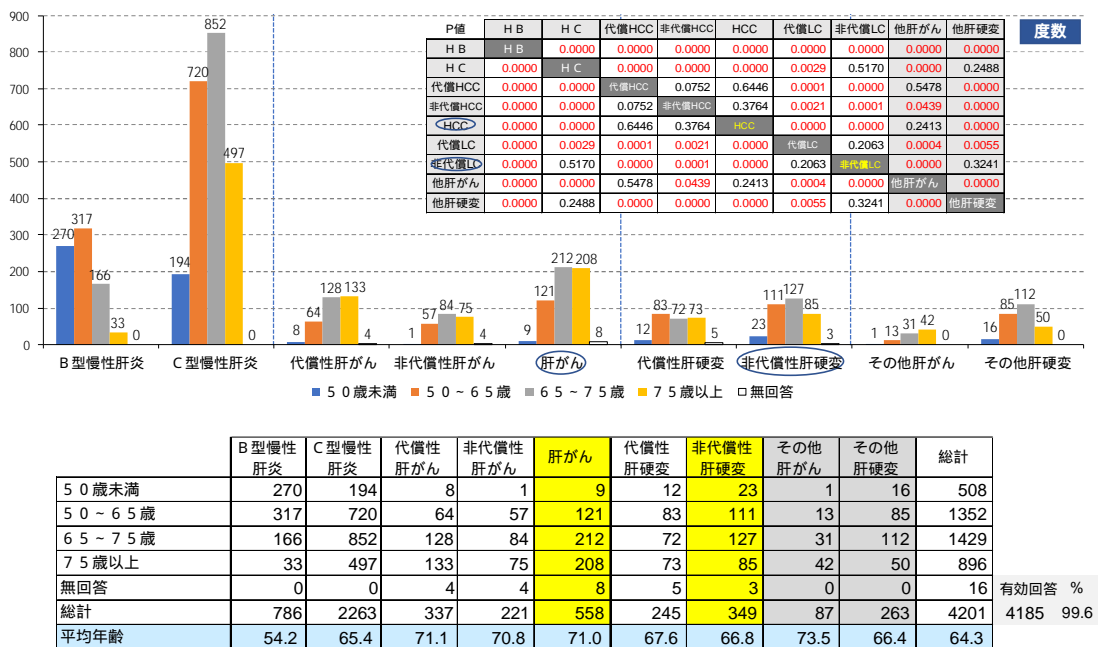


図3.年代分布

A-2 あなたの出生年月を教えてください(→年代構成比)

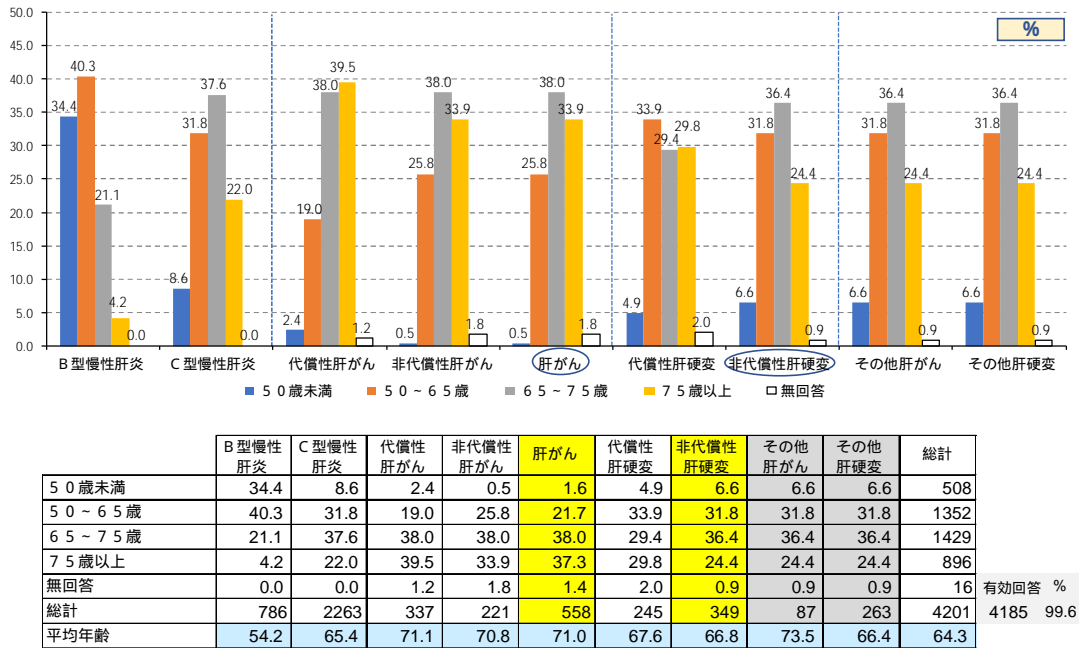


図4.年齢構成比

最近1年間の入院回数で3回以上の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で27名(7.7%)、肝がん患者で106名(19.0%)であった(図5) (図6)。

最近1年間の通院回数で週1回以上の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で53名(15.2%)、肝がん患者で63名(11.3%)であった(図7)(図8)。

B-4-1 最近1年間で、何回入院しましたか(→入院回数分布)

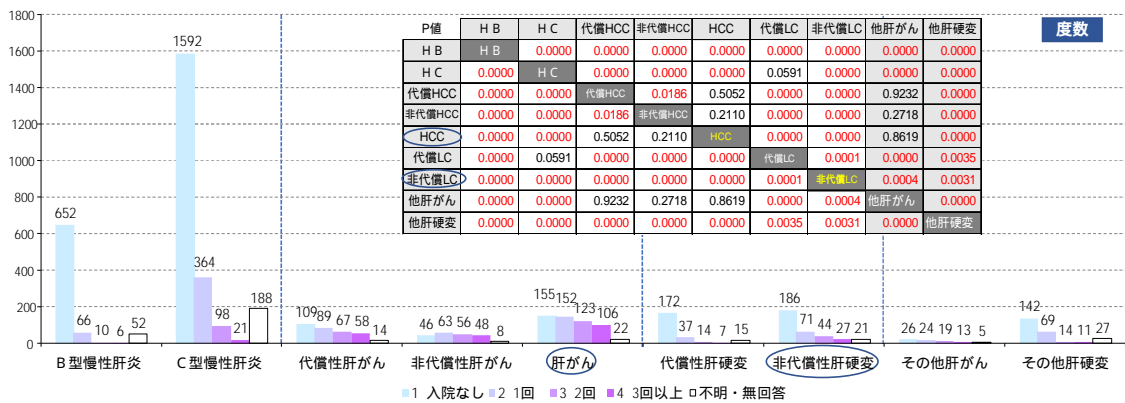
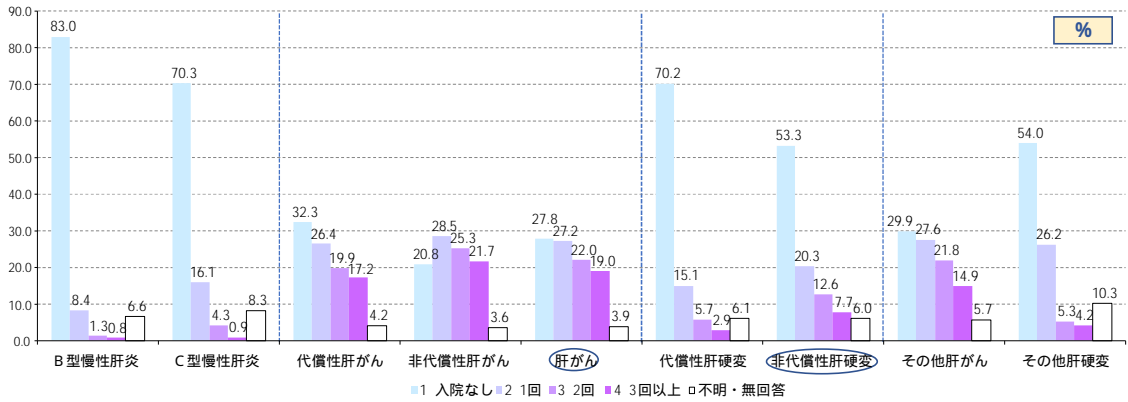


図5.入院回数分布

B-4-1 最近1年間で、何回入院しましたか(→入院回数比率)

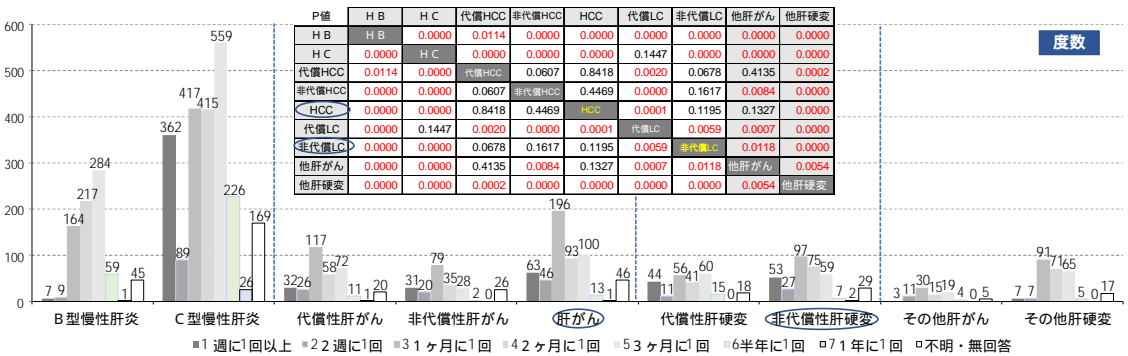


	B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	代償性肝がん	非代償性肝がん	肝がん	代償性肝硬変	非代償性肝硬変	その他肝がん	その他肝硬変	総計
1 入院なし	83.0	70.3	32.3	20.8	27.8	70.2	53.3	29.9	54.0	2757
2 1回	8.4	16.1	26.4	28.5	27.2	15.1	20.3	27.6	26.2	690
3 2回	1.3	4.3	19.9	25.3	22.0	5.7	12.6	21.8	5.3	289
4 3回以上	0.8	0.9	17.2	21.7	19.0	2.9	7.7	14.9	4.2	167
不明・無回答	6.6	8.3	4.2	3.6	3.9	6.1	6.0	5.7	10.3	298
総計	786	2263	337	221	558	245	349	87	263	4201

有効回答 % 3903 92.9

図6.入院回数比率

B-4-2 最近1年間は、どれくらいの通院頻度でしたか(→通院頻度分布)



	B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	代償性肝がん	非代償性肝がん	肝がん	代償性肝硬変	非代償性肝硬変	その他肝がん	その他肝硬変	総計
1週に1回以上	7	362	32	31	63	44	53	3	7	529
2週に1回	9	89	26	20	46	11	27	11	7	182
3ヶ月に1回	164	417	117	79	196	56	97	30	91	930
4ヶ月に1回	217	415	58	35	93	41	75	15	71	841
5ヶ月に1回	284	559	72	28	100	60	59	19	65	1062
6半年に1回	59	226	11	2	13	15	7	4	5	320
7年に1回	1	26	1	0	1	0	2	0	0	30
不明・無回答	45	169	20	26	46	18	29	5	17	307
総計	786	2263	337	221	558	245	349	87	263	4201

有効回答 % 3894 92.7

図7.通院頻度分布

B-4-2 最近1年間は、どれくらいの通院頻度でしたか（→通院頻度比率）

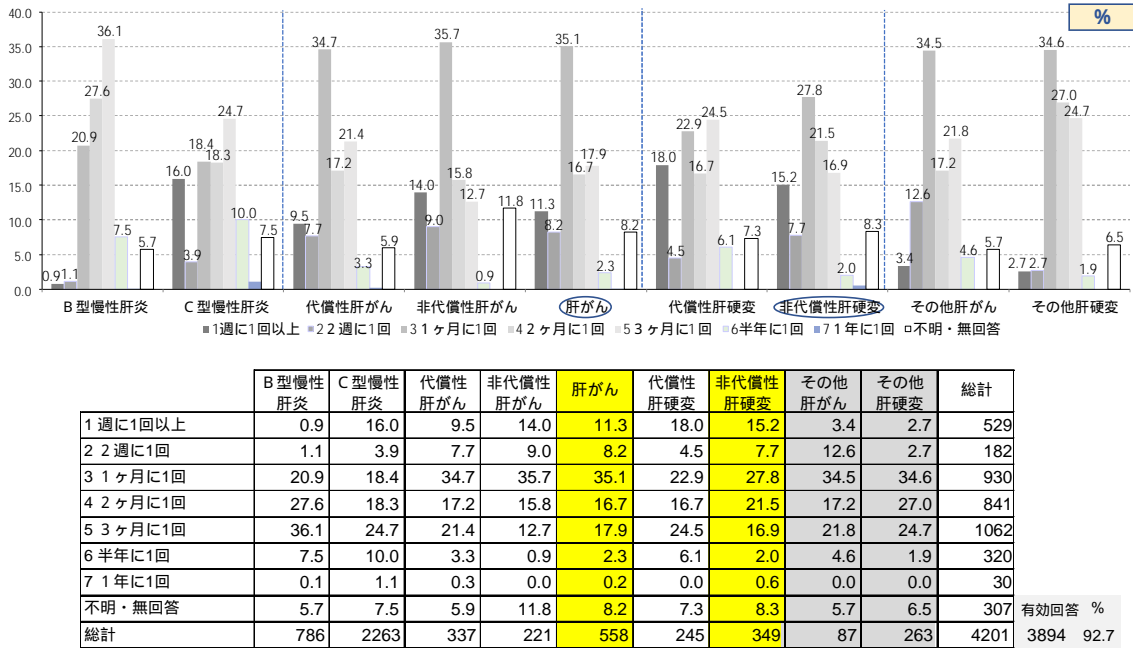


図8.通院頻度比率

肝臓病の治療のために最近1か月間に支払った医療費総額で5万円以上の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で23名(6.6%)、肝がん患者で72名(12.9%)であった(図9)(図10)。

B-4-3 肝臓病の治療のために、最近1ヶ月間で支払った医療費総額はいくらでしたか（→ひと月医療費分布）

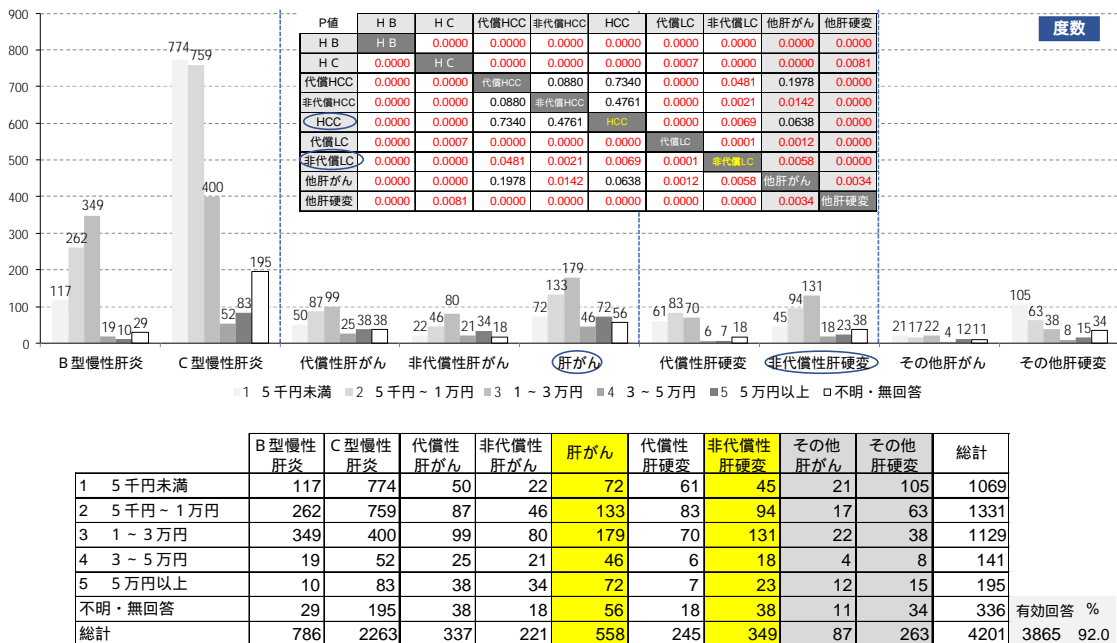
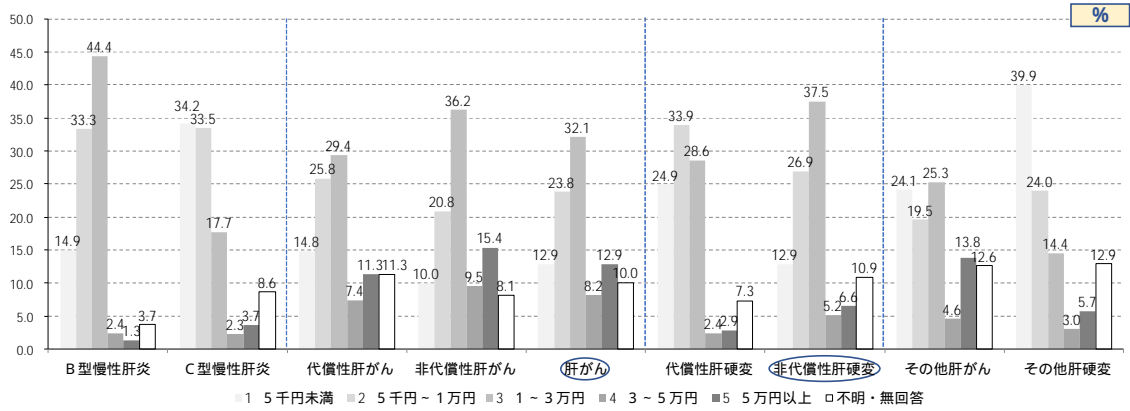


図9.ひと月医療費分布

**B-4-3 肝臓病の治療のために、最近1ヶ月間で支払った医療費総額はいくらでしたか
(→ひと月医療費構成比率)**



	B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	代償性肝がん	非代償性肝がん	肝がん	代償性肝硬変	非代償性肝硬変	その他肝がん	その他肝硬変	総計
1 5千円未満	14.9	34.2	14.8	10.0	12.9	24.9	12.9	24.1	39.9	1069
2 5千円～1万円	33.3	33.5	25.8	20.8	23.8	33.9	26.9	19.5	24.0	1331
3 1～3万円	44.4	17.7	29.4	36.2	32.1	28.6	37.5	25.3	14.4	1129
4 3～5万円	2.4	2.3	7.4	9.5	8.2	2.4	5.2	4.6	3.0	141
5 5万円以上	1.3	3.7	11.3	15.4	12.9	2.9	6.6	13.8	5.7	195
不明・無回答	3.7	8.6	11.3	8.1	10.0	7.3	10.9	12.6	12.9	336
総計	786	2263	337	221	558	245	349	87	263	4201

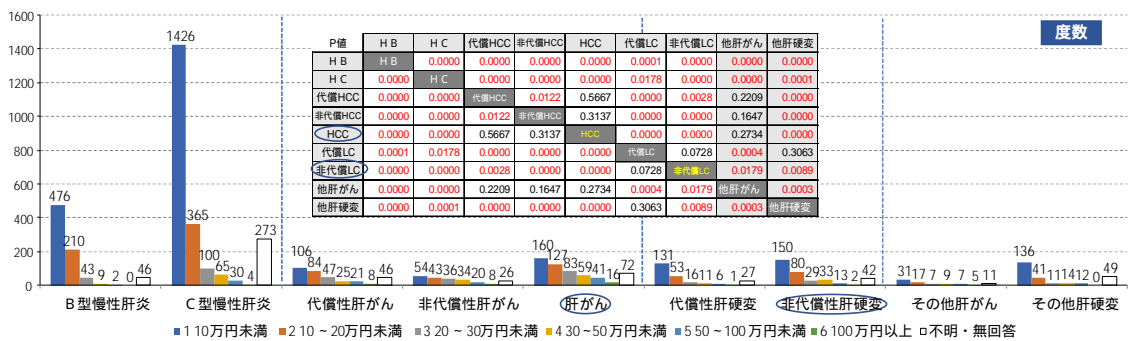
有効回答 % 3865 92.0

図10.ひと月医療費構成比率

肝臓病の治療のために最近1年間に支払った医療費の総額で100万円以上の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で2名(0.6%)、肝がん患者で16名(2.9%)であった(図11)(図12)。

最近1年間に支払った医療費の総額で10万円未満の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で150名(43.0%)、肝がん患者で160名(28.7%)であった(図11)(図12)。

**B-4-4 肝臓病の治療のために、最近1年間で支払った医療費の総額はいくらですか
(→1年医療費分布)**

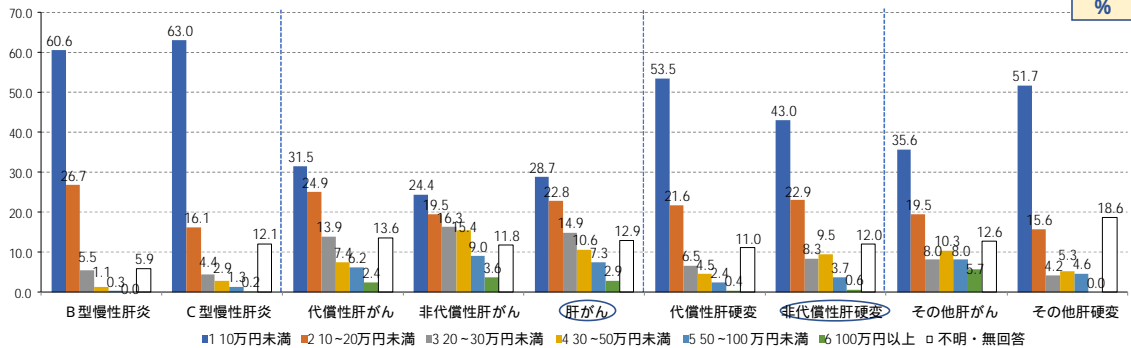


	B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	代償性肝がん	非代償性肝がん	肝がん	代償性肝硬変	非代償性肝硬変	その他肝がん	その他肝硬変	総計
1 10万円未満	476	1426	106	54	160	131	150	31	136	2343
2 10～20万円未満	210	365	84	43	127	53	80	17	41	835
3 20～30万円未満	43	100	47	36	83	16	29	7	11	271
4 30～50万円未満	9	65	25	34	59	11	33	9	14	177
5 50～100万円未満	2	30	21	20	41	6	13	7	12	92
6 100万円以上	0	4	8	8	16	1	2	5	0	23
不明・無回答	46	273	46	26	72	27	42	11	49	460
総計	786	2263	337	221	558	245	349	87	263	4201

有効回答 % 3741 89.1

図11.1年医療費分布

B-4-4 肝臓病の治療のために、最近1年間で支払った医療費の総額はいくらですか
(→1年医療費構成比率)



	B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	代償性肝がん	非代償性肝がん	肝がん	代償性肝硬変	非代償性肝硬変	その他肝がん	その他肝硬変	総計
1 110万円未満	60.6	63.0	31.5	24.4	28.7	53.5	43.0	35.6	51.7	2343
2 10~20万円未満	26.7	16.1	24.9	19.5	22.8	21.6	22.9	19.5	15.6	835
3 20~30万円未満	5.5	4.4	13.9	16.3	14.9	6.5	8.3	8.0	4.2	271
4 30~50万円未満	1.1	2.9	7.4	15.4	10.6	4.5	9.5	10.3	5.3	177
5 50~100万円未満	0.3	1.3	6.2	9.0	7.3	2.4	3.7	8.0	4.6	92
6 100万円以上	0.0	0.2	2.4	3.6	2.9	0.4	0.6	5.7	0.0	23
不明・無回答	5.9	12.1	13.6	11.8	12.9	11.0	12.0	12.6	18.6	460
総計	786	2263	337	221	558	245	349	87	263	4201

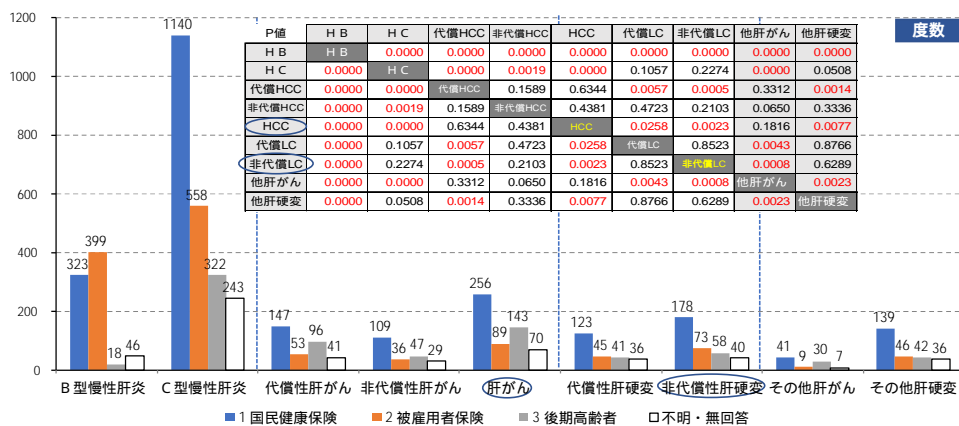
有効回答 % 3741 89.1

図12.1年医療費構成比率

加入している医療保険の種類について国民健康保険の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で178名(51.0%)、肝がん患者で256名(45.9%)であった(図13)(図14)。

年金の受給者の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で241名(69.1%)、肝がん患者で450名(80.6%)であった(図15)(図16)。

F-16 あなたの加入している医療保険はどれですか(→医療保険種別分布)



	B型慢性肝炎	C型慢性肝炎	代償性肝がん	非代償性肝がん	肝がん	代償性肝硬変	非代償性肝硬変	その他肝がん	その他肝硬変	総計
1 国民健康保険	323	1140	147	109	256	123	178	41	139	2020
2 被雇用者保険	399	558	53	36	89	45	73	9	46	1164
3 後期高齢者	18	322	96	47	143	41	58	30	42	582
不明・無回答	46	243	41	29	70	36	40	7	36	435
総計	786	2263	337	221	558	245	349	87	263	4201

有効回答 % 3766 89.6

図13.医療保険種別分布

F-16 あなたの加入している医療保険はどれですか（→医療保険種別比率）

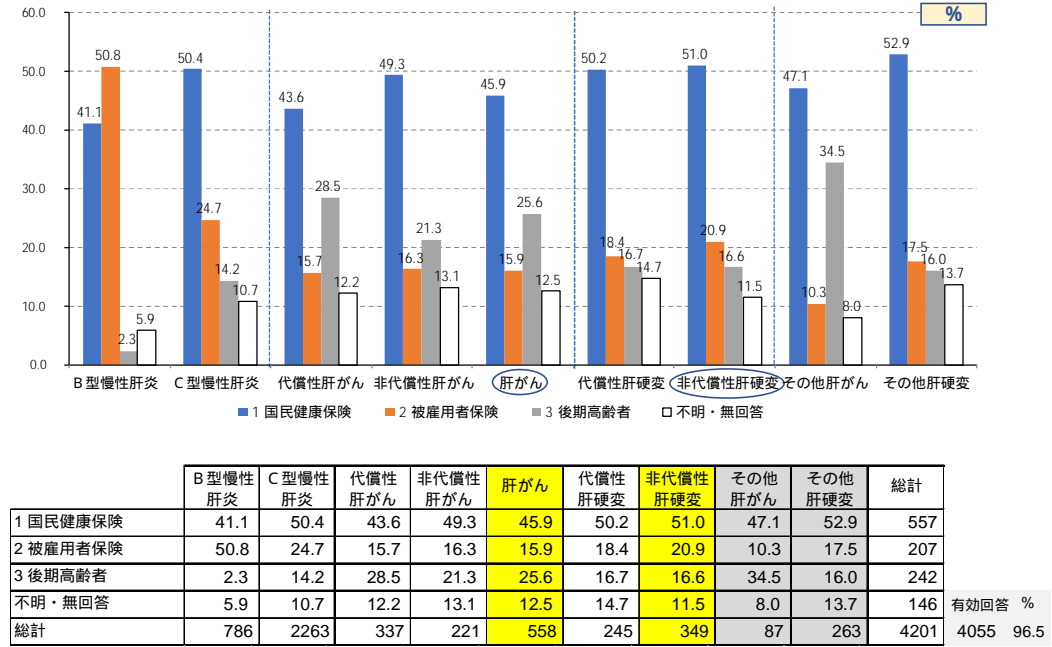


図14.医療保険種別比率

F-17 年金を受給されていますか（→年金受給有無度数）

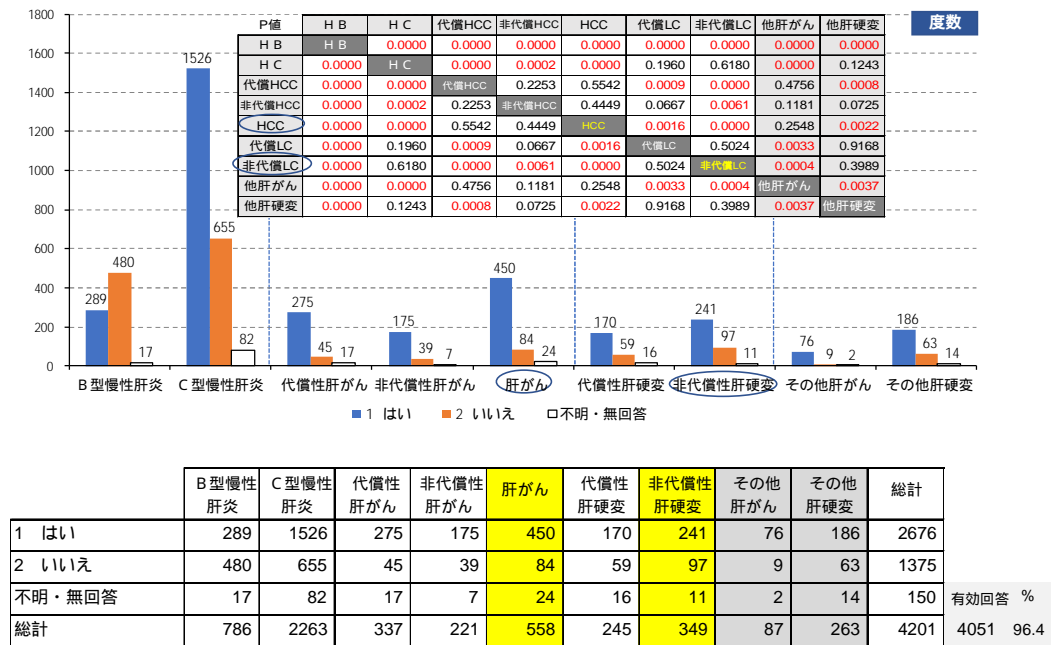


図15.年金受給有無度数

F-17 年金を受給されていますか（→年金受給有無比率）

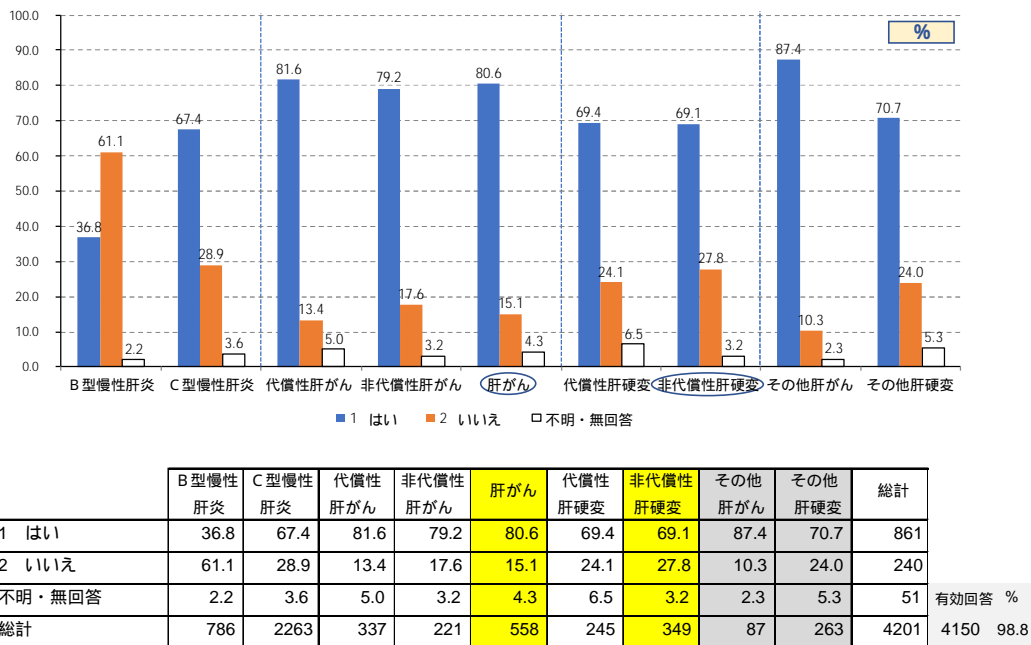


図16.年金受給有無比率

2. 年収300万円以下が確認されたB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者と肝がん患者のそれぞれの実態

ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者（N=198）と肝がん患者（N=309）の平均年齢は、それぞれ68.5歳と71.5歳であった（図17）（図18）（図19）。

年収300万円以下が確認されたB型、C型肝炎

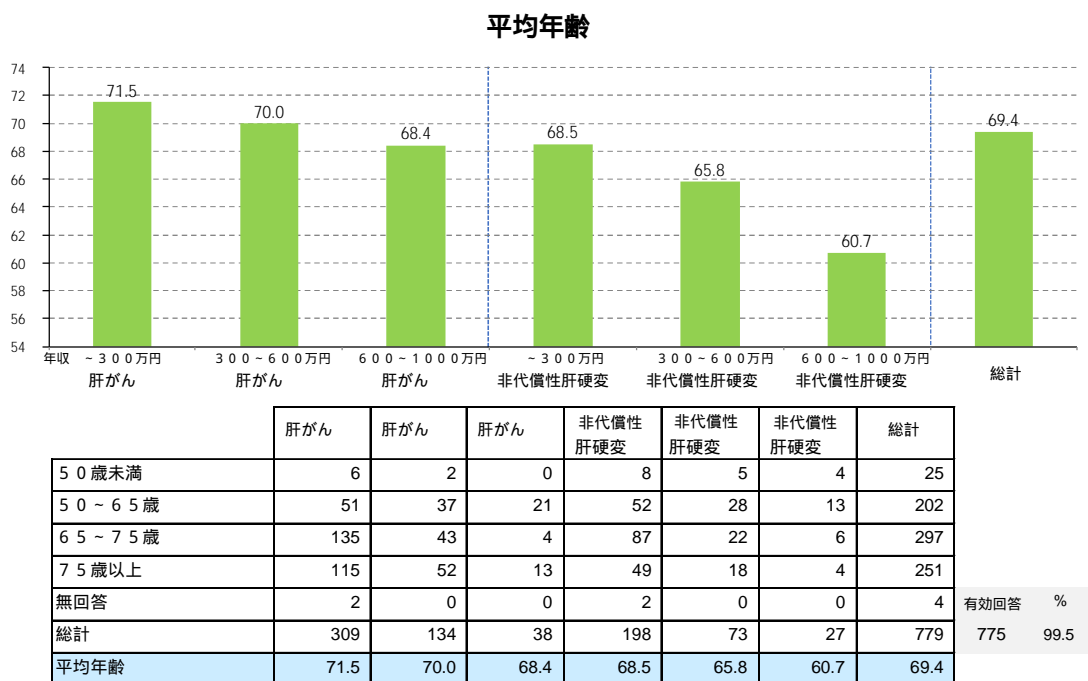
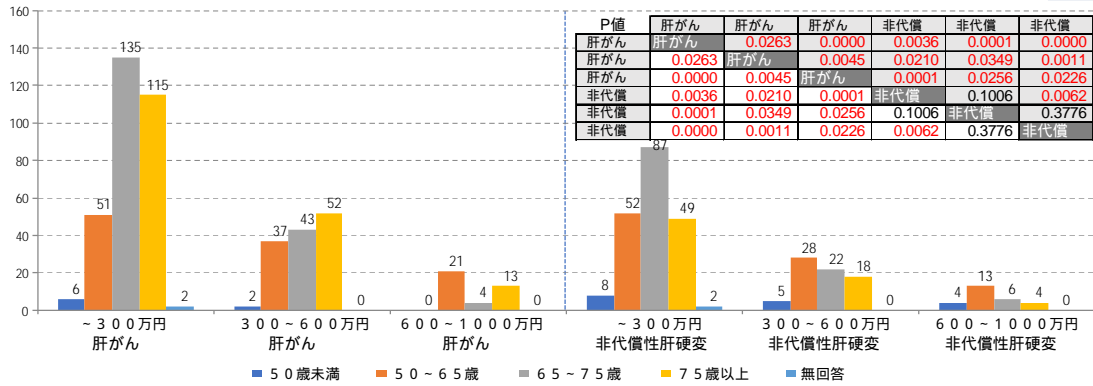


図17.平均年齢

A-2 あなたの出生年月を教えてください(→年代分布)

度数



P値	肝がん	肝がん	肝がん	非代償	非代償	非代償
肝がん	肝がん	0.0263	0.0000	0.0036	0.0001	0.0000
肝がん	0.0263	肝がん	0.0045	0.0210	0.0349	0.0011
肝がん	0.0000	0.0045	肝がん	0.0001	0.0256	0.0226
非代償	0.0036	0.0210	0.0001	非代償	0.1006	0.0062
非代償	0.0001	0.0349	0.0256	0.1006	非代償	0.3776
非代償	0.0000	0.0011	0.0226	0.0062	0.3776	非代償

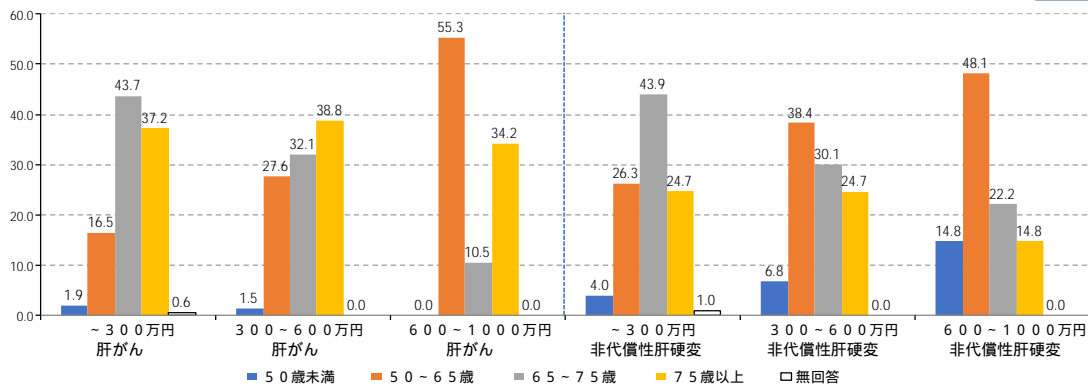
	肝がん	肝がん	肝がん	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	総計
50歳未満	6	2	0	8	5	4	25
50~65歳	51	37	21	52	28	13	202
65~75歳	135	43	4	87	22	6	297
75歳以上	115	52	13	49	18	4	251
無回答	2	0	0	2	0	0	4
合計	309	134	38	198	73	27	779
平均年齢	71.5	70.0	68.4	68.5	65.8	60.7	69.4

有効回答 %
775 99.5

図18.年代分布

A-2 あなたの出生年月を教えてください(→年代構成比)

%



	肝がん	肝がん	肝がん	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	総計
50歳未満	1.9	1.5	0.0	4.0	6.8	14.8	25
50~65歳	16.5	27.6	55.3	26.3	38.4	48.1	202
65~75歳	43.7	32.1	10.5	43.9	30.1	22.2	297
75歳以上	37.2	38.8	34.2	24.7	24.7	14.8	251
無回答	0.6	0.0	0.0	1.0	0.0	0.0	4
合計	309	134	38	198	73	27	779
平均年齢	71.5	70.0	68.4	68.5	65.8	60.7	69.4

有効回答 %
775 99.5

図19.年齢構成比

上記同対象者で、最近1年間の入院回数で3回以上の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で17名(8.6%)、肝がん患者で59名(19.1%)であった(図20)(図21)。

上記同対象者で、最近1年間の通院回数で週1回以上の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で32名(16.2%)、肝がん患者で43名(13.9%)であった(図22)(図23)。

B-4-1 最近1年間で、何回入院しましたか(→入院回数分布)

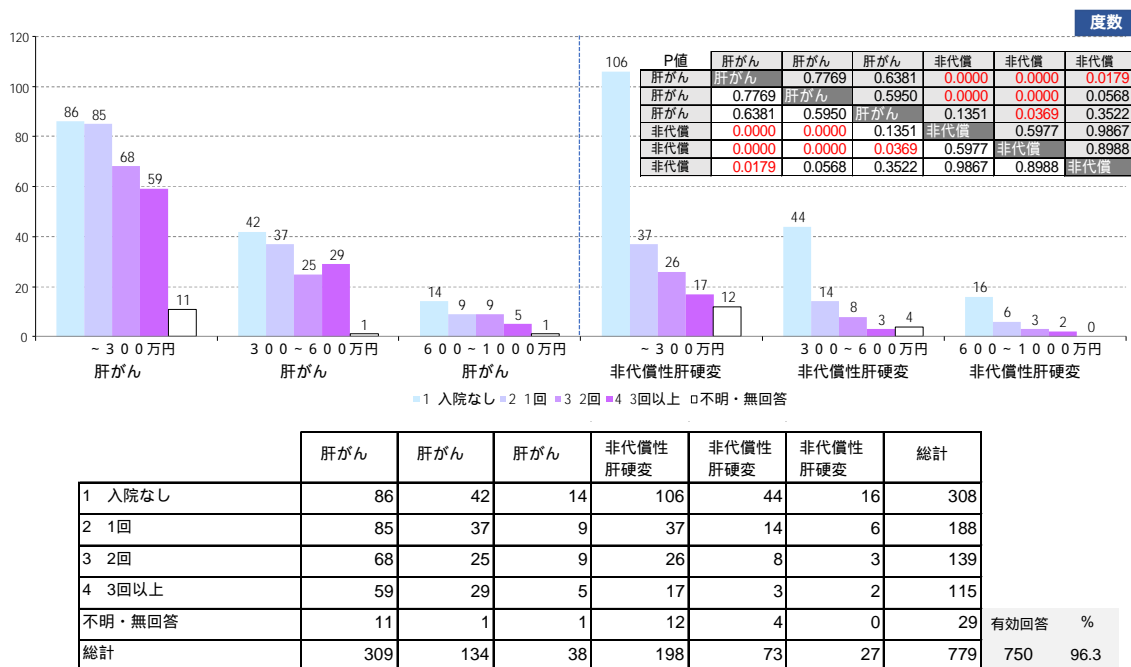


図20.入院回数分布

B-4-1 最近1年間で、何回入院しましたか(→入院回数比率)

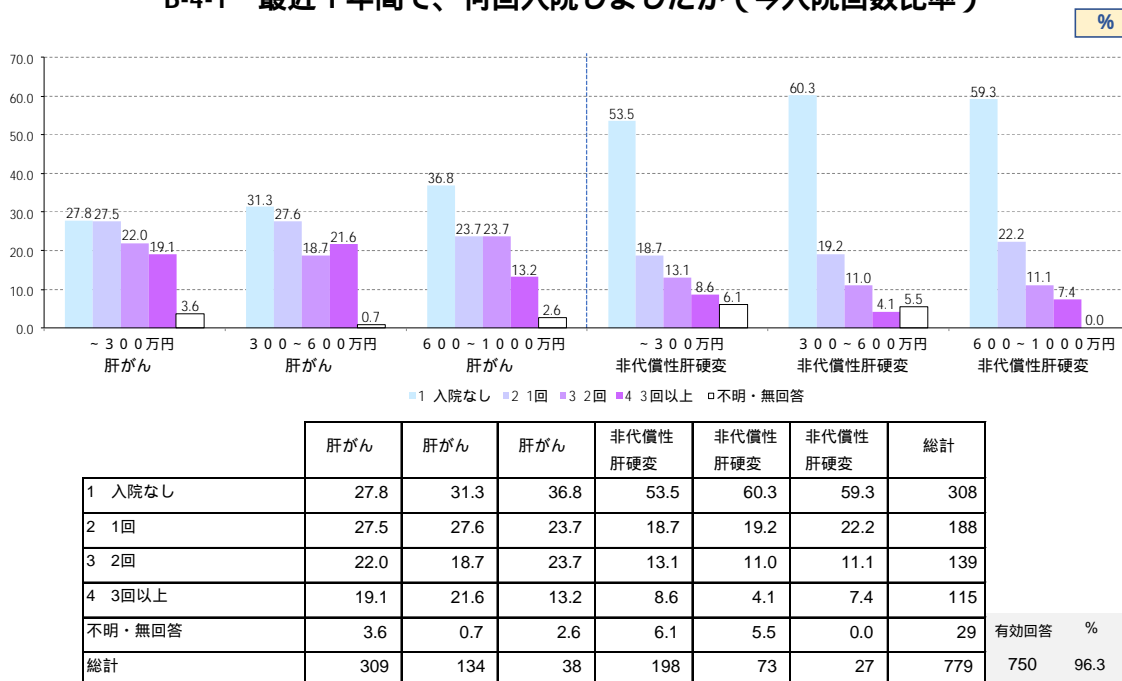


図21.入院回数比率

B-4-2 最近1年間は、どれくらいの通院頻度でしたか（→通院頻度分布）

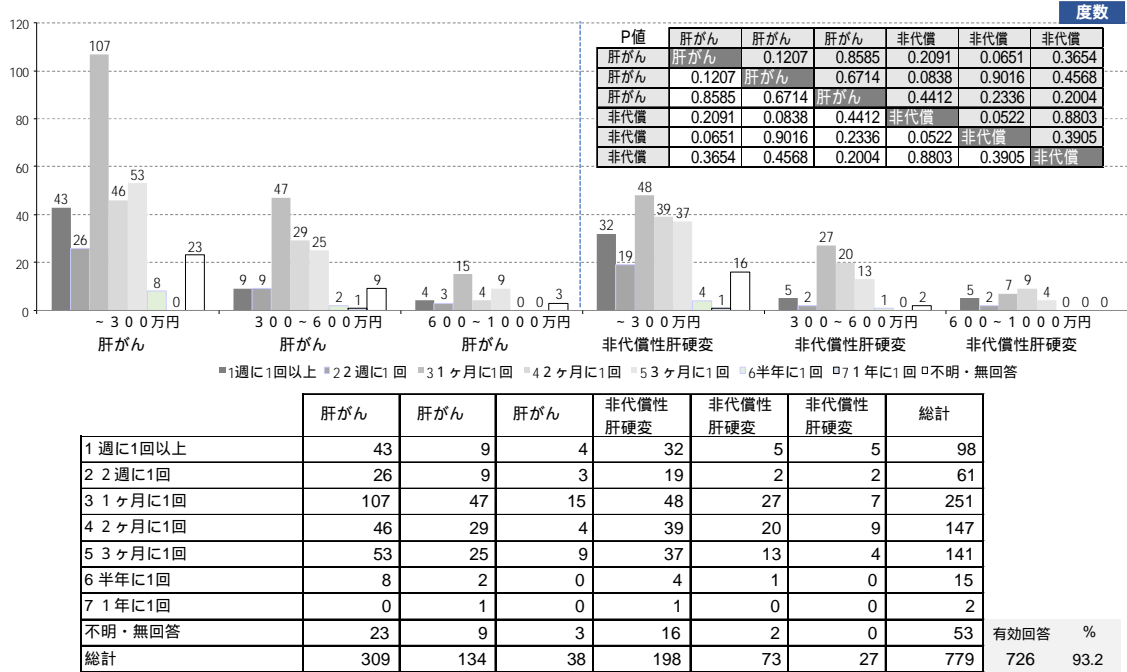


図22.通院頻度分布

B-4-2 最近1年間は、どれくらいの通院頻度でしたか（→通院頻度比率）

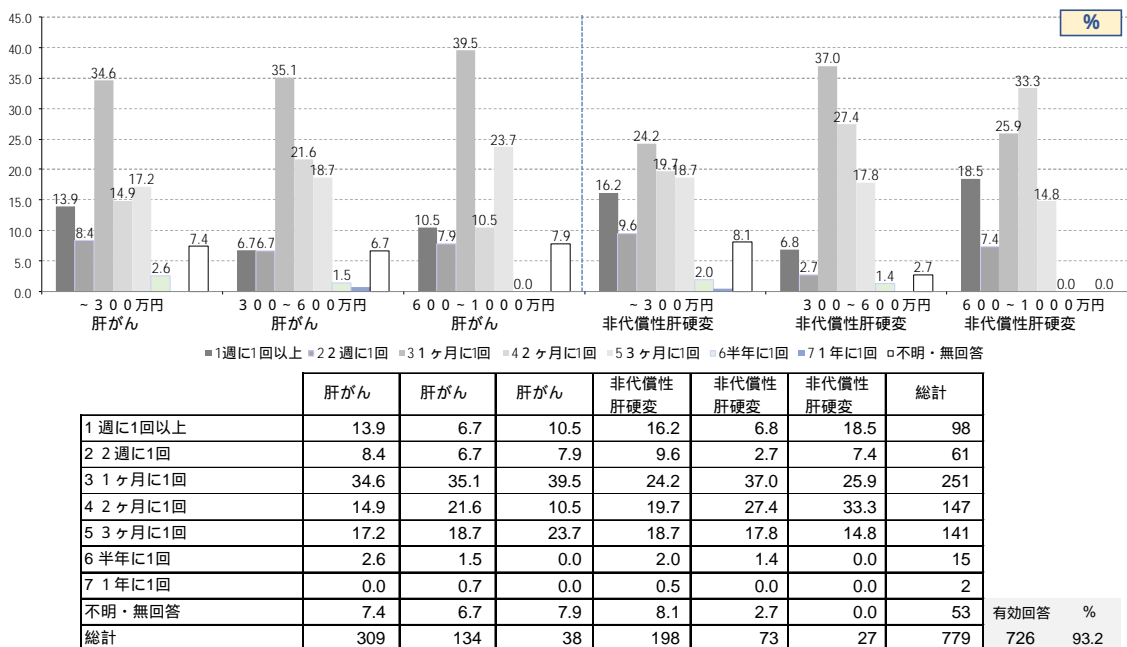
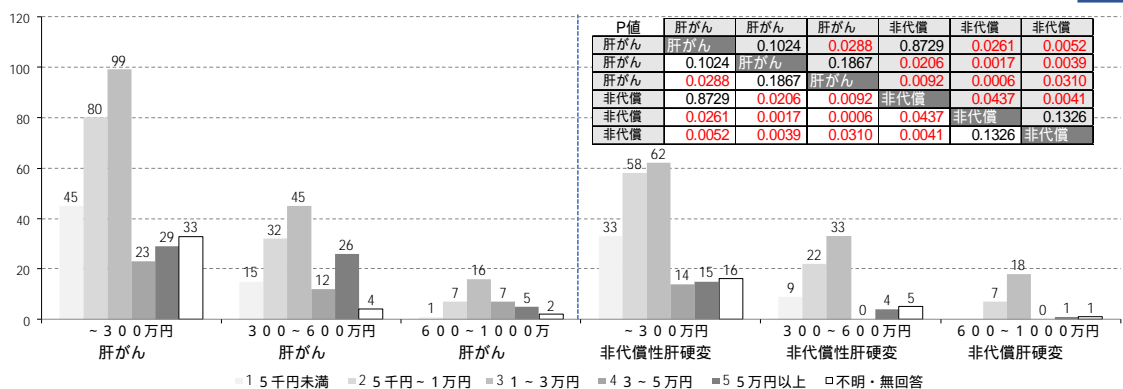


図23.通院頻度比率

上記同対象者で、肝臓病の治療のために最近1か月間に支払った医療費総額で5万円以上の対象者数（頻度）は、非代償性肝硬変患者で15

名（7.6%）、肝がん患者で29名（9.4%）であった（図24）（図25）。

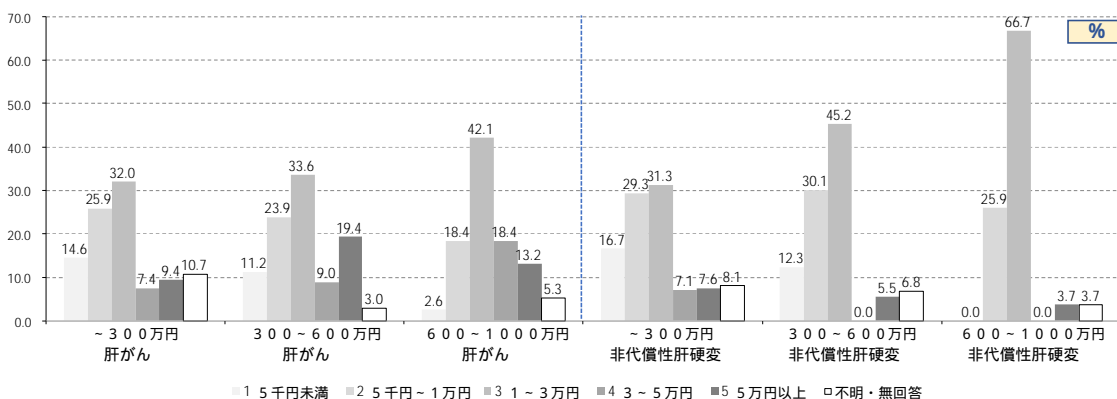
B-4-3 肝臓病の治療のために、最近1ヶ月間で支払った医療費総額はいくらでしたか（→ひと月医療費分布）



	肝がん	肝がん	肝がん	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	総計	有効回答	%
1 5千円未満	45	15	1	33	9		103		
2 5千円～1万円	80	32	7	58	22	7	206		
3 1～3万円	99	45	16	62	33	18	273		
4 3～5万円	23	12	7	14	0	0	56		
5 5万円以上	29	26	5	15	4	1	80		
不明・無回答	33	4	2	16	5	1	61		
総計	309	134	38	198	73	27	779	718	92.2

図24.ひと月医療費分布

B-4-3 肝臓病の治療のために、最近1ヶ月間で支払った医療費総額はいくらでしたか（→ひと月医療費構成比率）



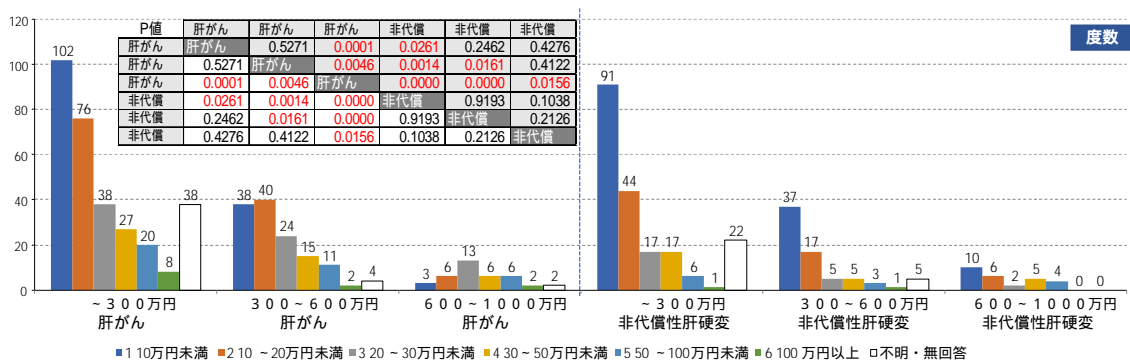
	肝がん	肝がん	肝がん	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	総計	有効回答	%
1 5千円未満	14.6	11.2	2.6	16.7	12.3	0.0	103		
2 5千円～1万円	25.9	23.9	18.4	29.3	30.1	25.9	206		
3 1～3万円	32.0	33.6	42.1	31.3	45.2	66.7	273		
4 3～5万円	7.4	9.0	18.4	7.1	0.0	0.0	56		
5 5万円以上	9.4	19.4	13.2	7.6	5.5	3.7	80		
不明・無回答	10.7	3.0	5.3	8.1	6.8	3.7	61		
総計	309	134	38	198	73	27	779	718	92.2

図25.ひと月医療費構成比率

上記同対象者で、肝臓病の治療のために最近1年間に支払った医療費の総額で100万円以上の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で1名(0.5%)、肝がん患者で8名(2.6%)であった(図26)(図27)。

上記同対象者で、最近1年間に支払った医療費の総額で10万円未満の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で91名(46.0%)、肝がん患者で102名(33.0%)であった(図26)(図27)。

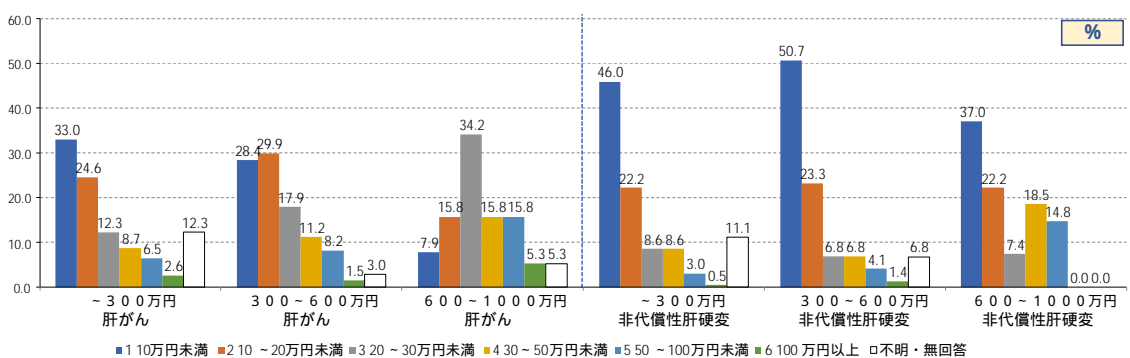
B-4-4 肝臓病の治療のために、最近1年間で支払った医療費の総額はいくらですか (→1年医療費分布)



	肝がん	肝がん	肝がん	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	総計
1 10万円未満	102	38	3	91	37	10	281
2 10～20万円未満	76	40	6	44	17	6	189
3 20～30万円未満	38	24	13	17	5	2	99
4 30～50万円未満	27	15	6	17	5	5	75
5 50～100万円未満	20	11	6	6	3	4	50
6 100万円以上	8	2	2	1	1	0	14
不明・無回答	38	4	2	22	5	0	71
総計	309	134	38	198	73	27	779
							有効回答 %
							708 90.9

図26.1年医療費分布

B-4-4 肝臓病の治療のために、最近1年間で支払った医療費の総額はいくらですか (→1年医療費構成比率)



	肝がん	肝がん	肝がん	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	非代償性肝硬変	総計
1 10万円未満	33.0	28.4	7.9	46.0	50.7	37.0	281
2 10～20万円未満	24.6	29.9	15.8	22.2	23.3	22.2	189
3 20～30万円未満	12.3	17.9	34.2	8.6	6.8	7.4	99
4 30～50万円未満	8.7	11.2	15.8	8.6	6.8	18.5	75
5 50～100万円未満	6.5	8.2	15.8	3.0	4.1	14.8	50
6 100万円以上	2.6	1.5	5.3	0.5	1.4	0.0	14
不明・無回答	12.3	3.0	5.3	11.1	6.8	0.0	71
総計	309	134	38	198	73	27	779
							有効回答 %
							708 90.9

図27.1年医療費構成比率

上記同対象者で、加入している医療保険の種類について国民健康保険の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で112名(56.6%)、肝がん患者で160名(51.8%)であった(図28)(図29)。

上記同対象者で、年金の受給者の対象者数(頻度)は、非代償性肝硬変患者で150名(75.8%)、肝がん患者で266名(86.1%)であった(図30)(図31)。

F-16 あなたの加入している医療保険はどれですか(→医療保険種別分布)

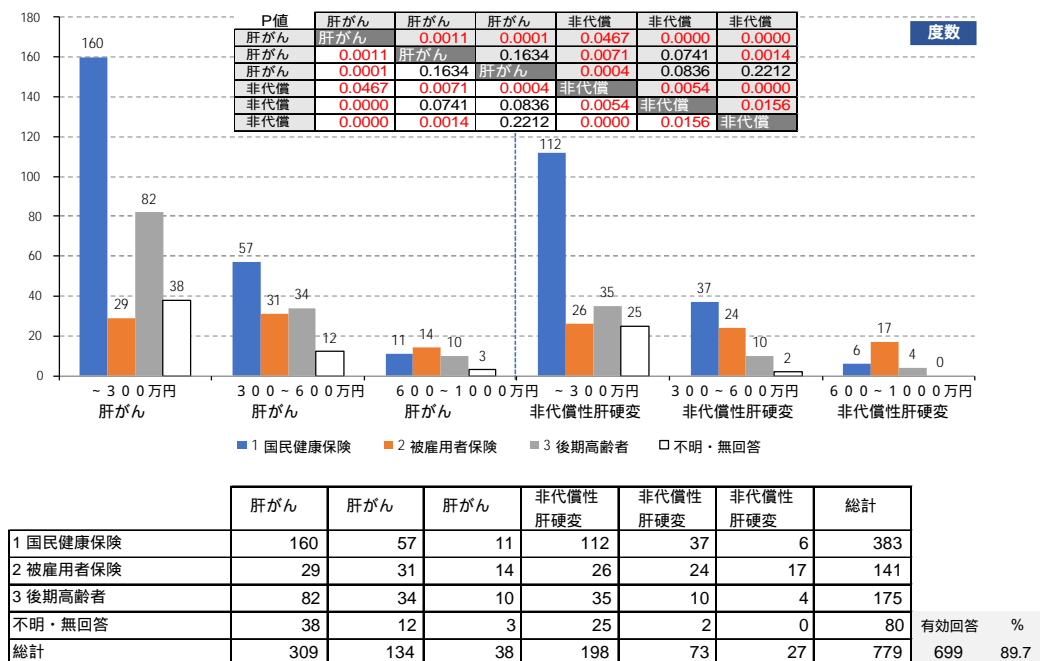


図28.医療保険種別分布

F-16 あなたの加入している医療保険はどれですか(→医療保険種別比率)

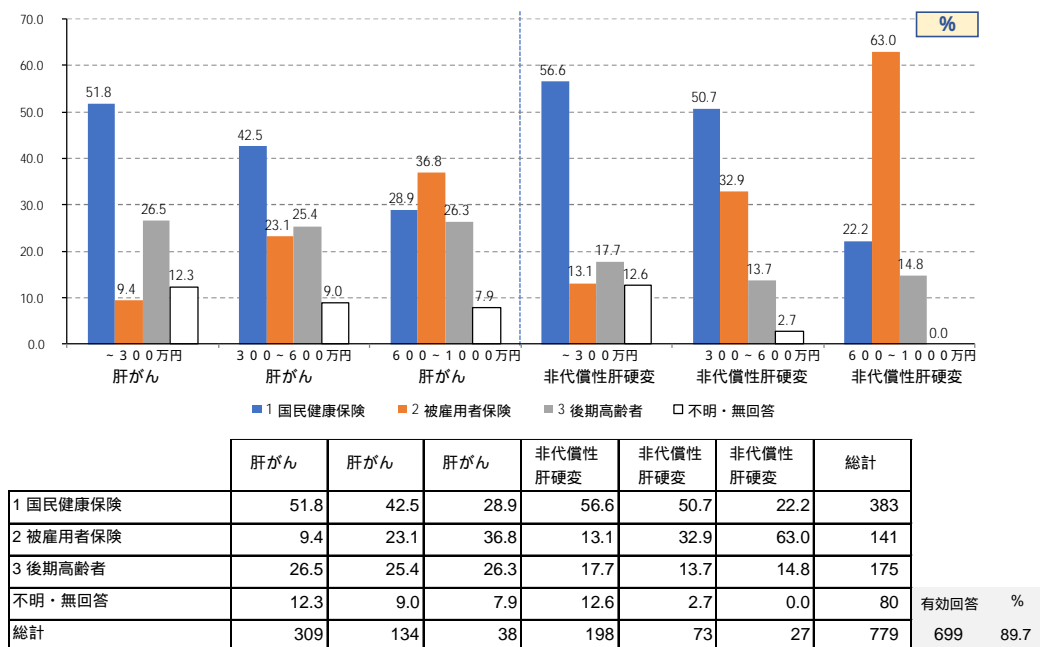


図29.医療保険種別比率

F-17 年金を受給されていますか (→年金受給有無度数)

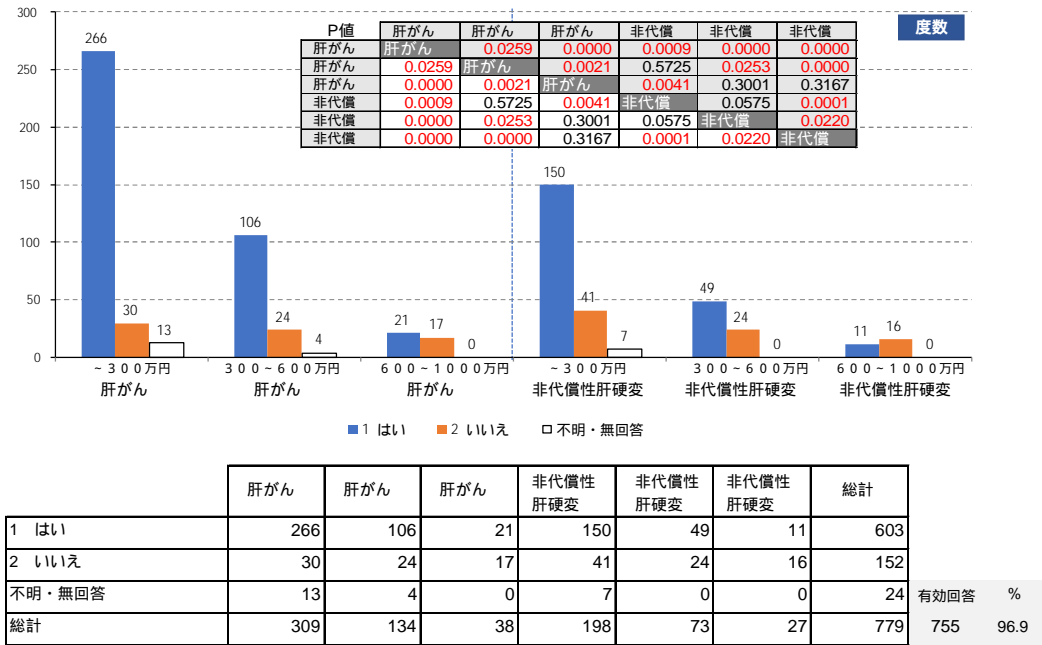


図30.年金受給有無度数

F-17 年金を受給されていますか (→年金受給有無比率)

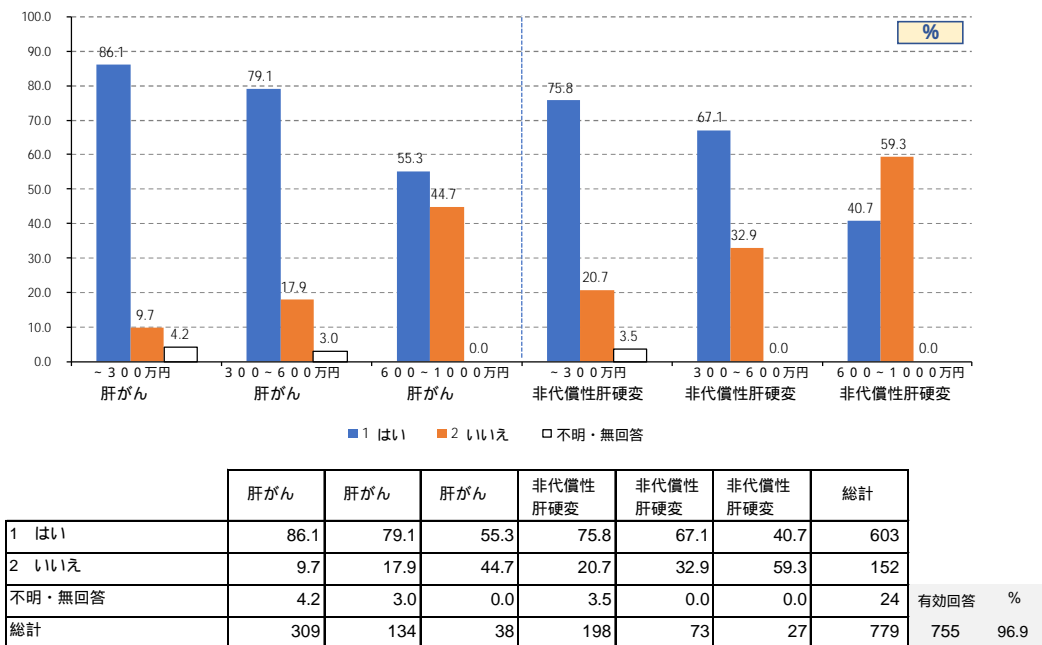


図31.年金受給有無比率

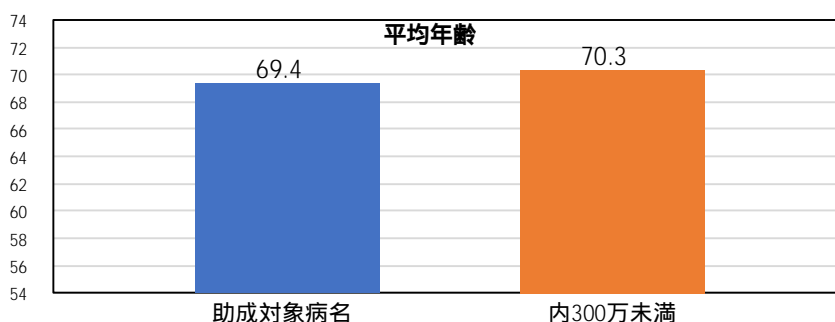
3. 年収300万円以下が確認されたB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者と肝がん患者を合わせた対象者の実態

年収 300 万円以下が確認された B 型、C 型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者 198

名と肝がん患者数 309 名を合わせた 507 名の
実態について分析をおこなった。

507名の平均年齢は、70.3歳であった(図32)
(図33)。

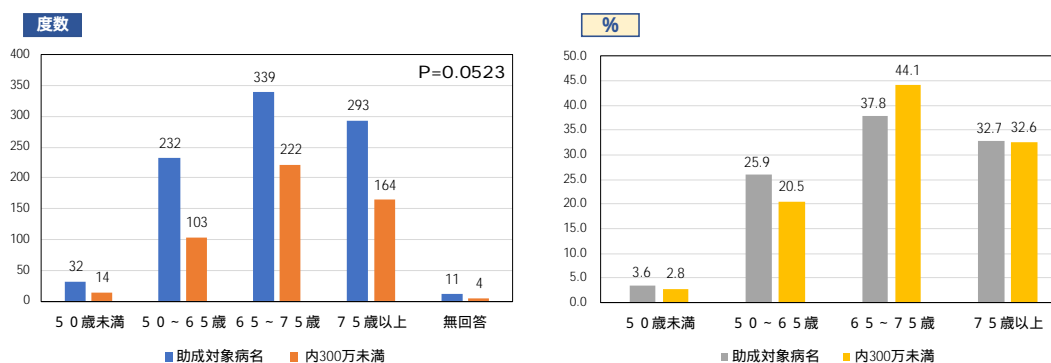
A-2 あなたの出生年月を教えてください(→平均年齢)



	度数		%		300万未満%
	助成対象病名	内300万未満	助成対象病名	内300万未満	
50歳未満	32	14	3.6	2.8	43.8
50～65歳	232	103	25.9	20.5	44.4
65～75歳	339	222	37.8	44.1	65.5
75歳以上	293	164	32.7	32.6	56.0
無回答	11	4			36.4
総計	907	507	100.0	100.0	55.9
平均年齢	69.4	70.3			

図32.平均年齢

A-2 あなたの出生年月を教えてください(→年代分布)



	度数		%		300万未満%
	助成対象病名	内300万未満	助成対象病名	内300万未満	
50歳未満	32	14	3.6	2.8	43.8
50～65歳	232	103	25.9	20.5	44.4
65～75歳	339	222	37.8	44.1	65.5
75歳以上	293	164	32.7	32.6	56.0
無回答	11	4			36.4
総計	907	507	100.0	100.0	55.9
平均年齢	69.4	70.3			

図33.年代分布

507名の中で、最近1年間の入院回数で3回以上の対象者数(頻度:有効回答数を母数で算出、以下同じ)は、76名(15.7%)であった(図34)。

507名の中で、最近1年間の通院回数で週1回以上の対象者数は75名(16.2%)であった(図35)。

B-4-1 最近1年間で、何回入院しましたか(→入院回数分布)

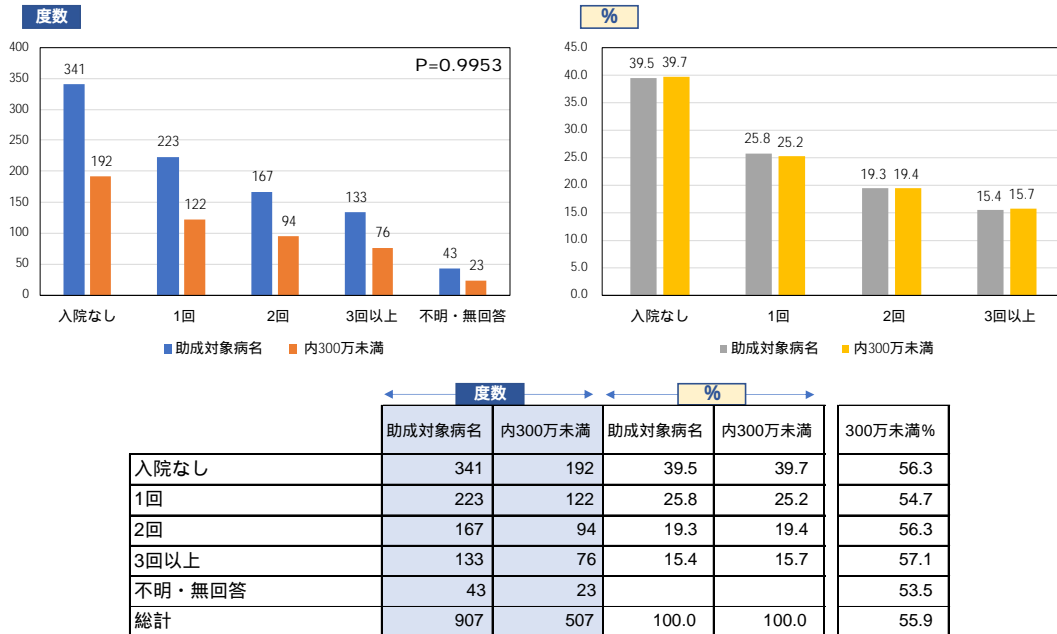


図34.入院回数分布

B-4-2 最近1年間は、どれくらいの通院頻度でしたか(→通院頻度分布)

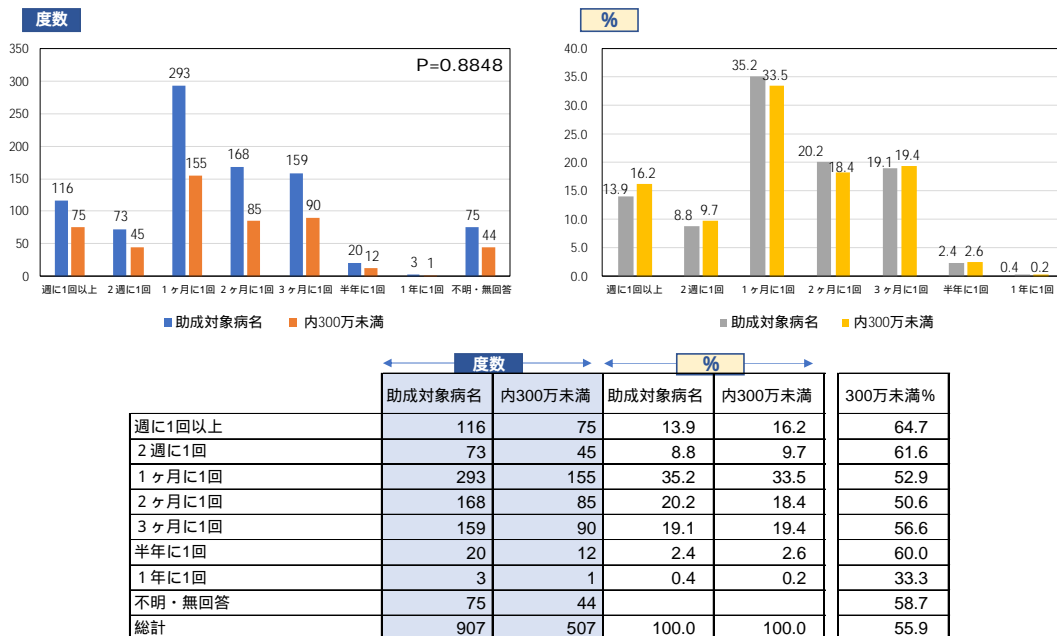


図35.通院頻度分布

507名の中で、肝臓病の治療のために最近1か月に支払った医療費総額で5万円以上の対象者数は44名(9.6%)であった(図36)。

間に支払った医療費の総額で100万円以上の対象者数は9名(2.0%)で、10万円未満の対象者数193名(43.2%)であった(図37)。

507名の中で、肝臓病の治療のために最近1年

B-4-3 肝臓病の治療のために最近1ヶ月間で支払った医療費総額はいくらでしたか

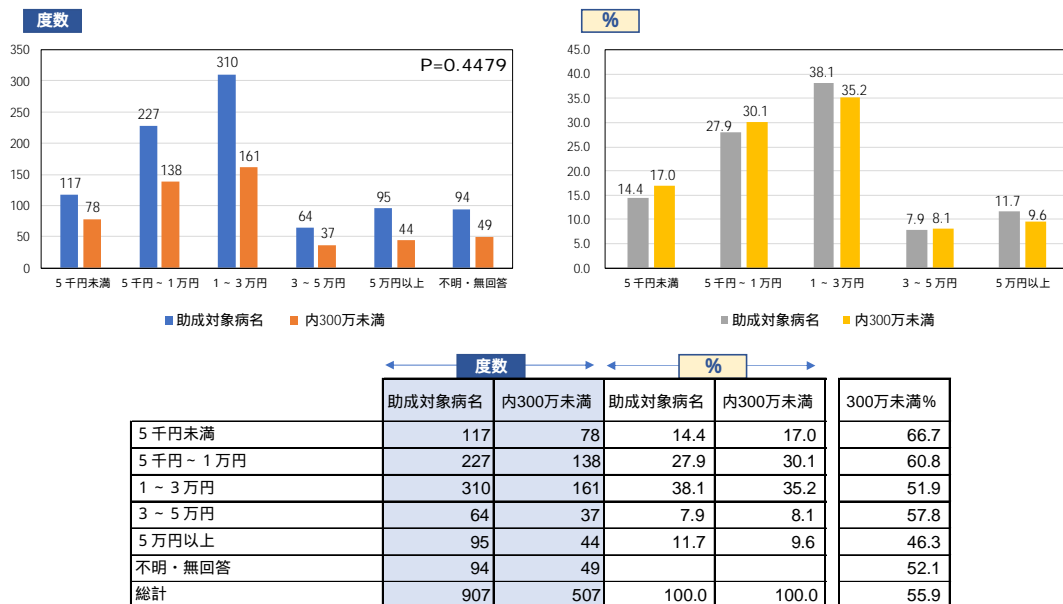


図36.ひと月医療費総額

B-4-4 肝臓病の治療のために、最近1年間で支払った医療費の総額はいくらですか

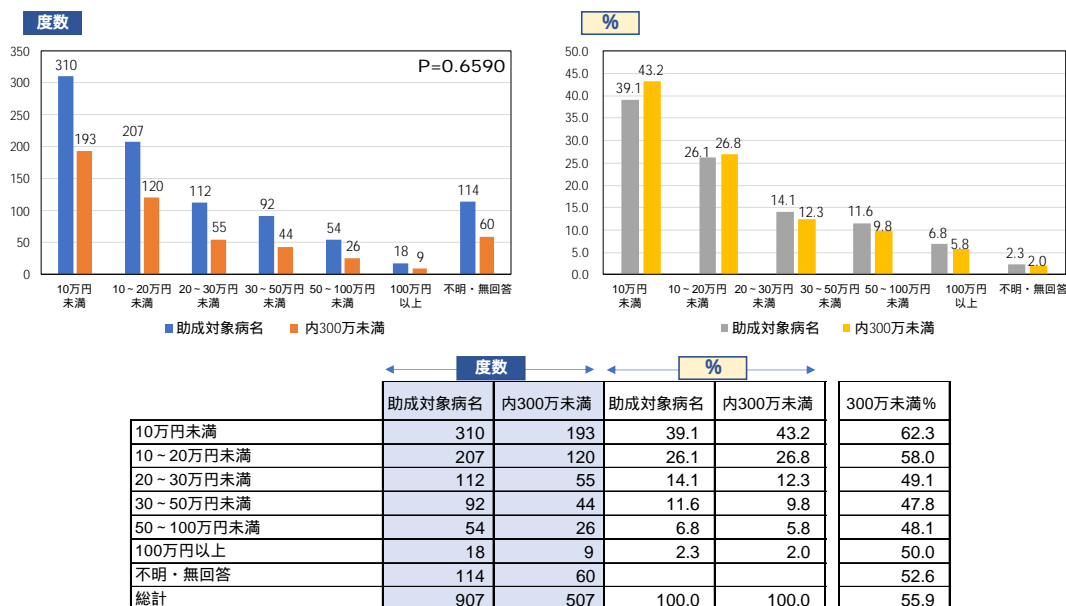


図37.1年医療費総額

507名の中で、医療保険の種類について国民健康保険の対象者数(頻度)は、272名(61.3%)であった(図38)。

507名の中で、年金の受給者の対象者数(頻度)は、416名(85.4%)であった(図39)。

F-16 あなたの加入している医療保険はどれですか

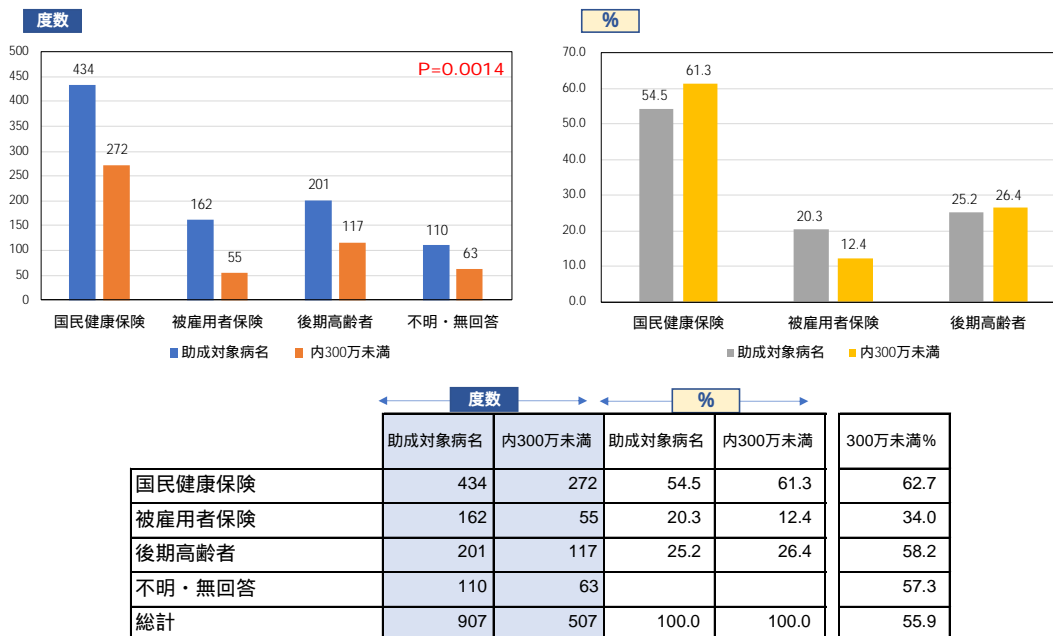


図38.医療保険

F-17 年金を受給されていますか

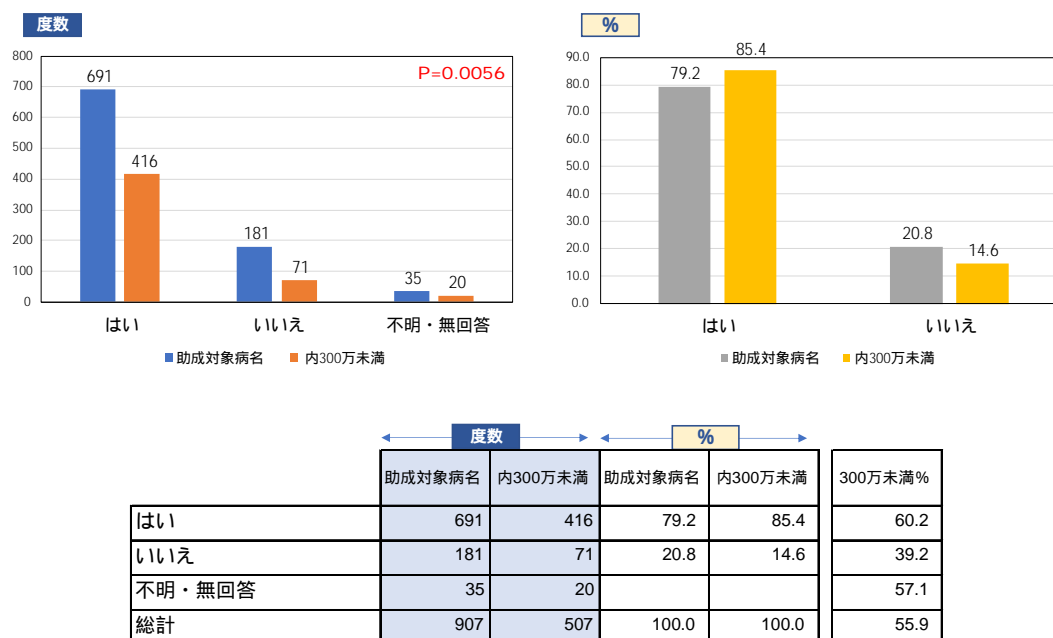


図39.年金受給

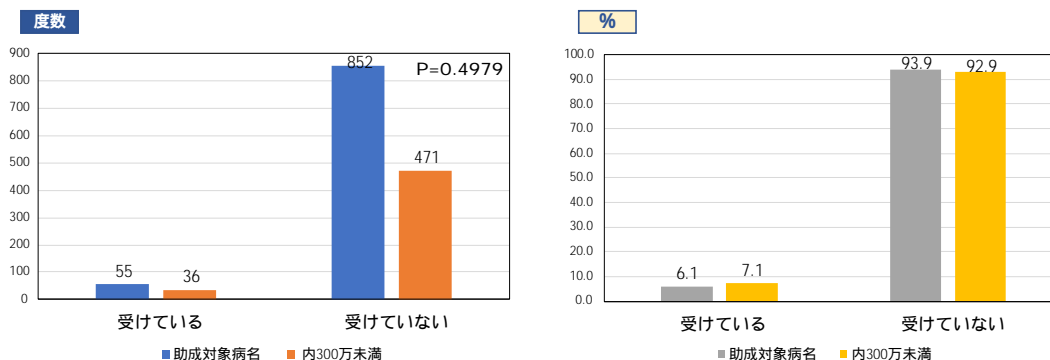
507名の中で、生活保護受給者数(頻度)は36名(7.1%)であった(図40)。

507名の中で、肝機能障害による身体障害者手帳の取得者数は14名(2.8%)であった(図

41)。

507名の中で、生活保護受給者ないし肝機能障害による身体障害者手帳の取得者の人数(頻度)は50名(9.9%)であった(図42)。

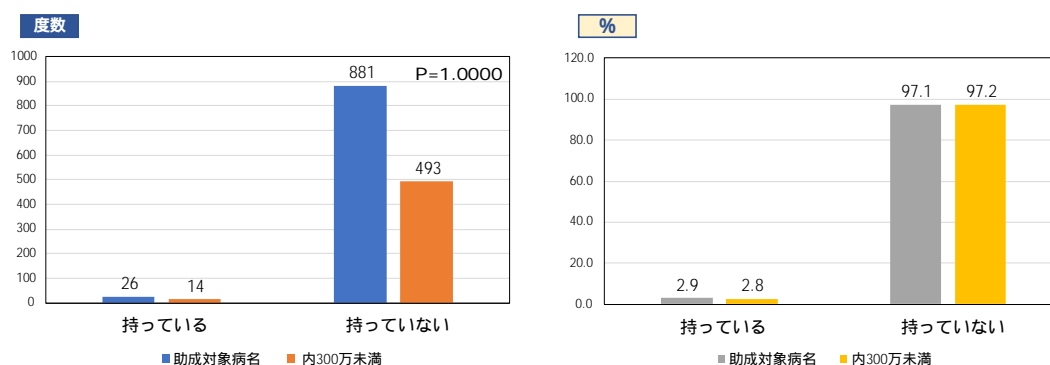
F-15 生活保護は受けていますか



	度数		%		300万未満%
	助成対象病名	内300万未満	助成対象病名	内300万未満	
受けている	55	36	6.1	7.1	65.5
受けていない	852	471	93.9	92.9	55.3
総計	907	507	100.0	100.0	55.9

図40.生活保護受給

D-8 現在、肝機能障害による身体障害者手帳をおもちですか



	度数		%		300万未満%
	助成対象病名	内300万未満	助成対象病名	内300万未満	
持っている	26	14	2.9	2.8	53.8
持っていない	881	493	97.1	97.2	56.0
総計	907	507	100.0	100.0	55.9

図41.身体障害者手帳保有者

F-15+D8 生活保護受給者+身障手帳所有者

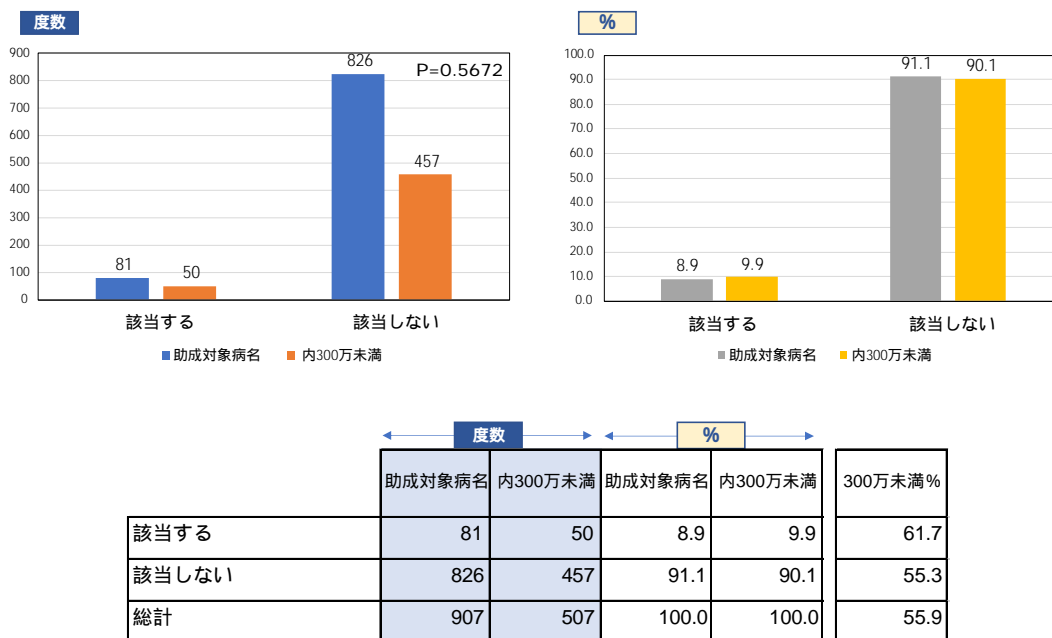


図42.生活保護受給者+身体障害者手帳所有者

507名を対象に、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じているかを5つのカテゴリーに区分して尋ねたところ、大変苦しい78名(15.7%)、やや苦しい176名(35.3%)、普

通228名(45.8%)、ややゆとり15名(3.0%)、大変ゆとり1名(0.2%)の人数(頻度)であった(図43)。

A-14 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか

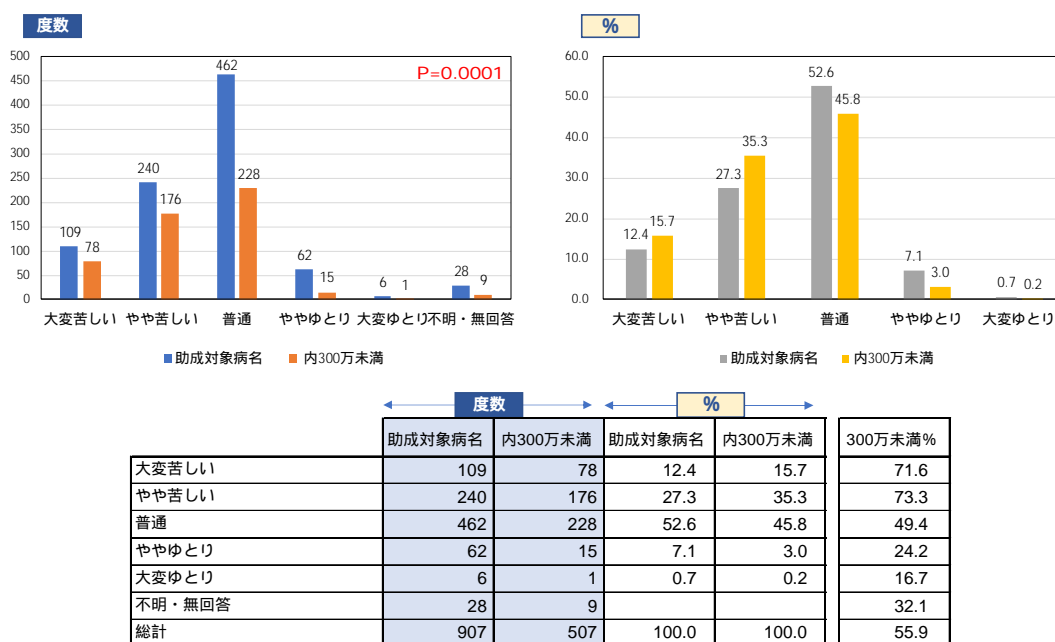


図43.現在の暮らしの状況

D．考察

平成30年12月から肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業が開始され、B型肝炎ウイルスまたはC型肝炎ウイルスによる肝がん・重度肝硬変の患者の医療費の自己負担軽減を図りつつ、最適な治療を選択できるようにするための研究を促進する仕組みが構築された。一定の基準を満たした者では、4月目以降に都道府県知事が指定する指定医療機関に入院して高額療養費の算定基準額を超えた月に係る医療費に対し公費負担がおこなわれることになっている。

しかしながら、本事業が開始されてから1年以上が経過した時点で、公費負担の対象となる患者が当初の予定より少ないことが指摘されている。対象となる患者の実態を明らかにする目的で、過去に実施した患者アンケート調査結果を用いて、その患者背景因子とその頻度について再分析することにした。なお、2012年2月1日～7月31日までの期間実施された調査であることから、今から8年以上前の状況であることを踏まえて、本解析結果は解釈する必要がある。

また過去に実施したアンケート調査結果であることから、今回の事業での公費負担対象基準と必ずしも合致しないものの、可能な限り近似した基準を用いて、その実態を明らかにすることとした。

6331名中、B型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者数は349名(5.5%)と肝がん患者数は558名(8.8%)で計907名(14.3%)であった。907名を背景因子の中で年収が明らかでない779名の中で年収300万円以下の条件で絞り込むと507名(65.1% = 507/779)が抽出された。

507名の実態をまとめると、平均年齢は、70.3歳、最近1年間の入院回数で3回以上の対象者数(頻度)は76名(15.7%)、最近1年間の通院回数で週1回以上の対象者数は75名(16.2%)、肝臓病の治療のために最近1か月間に支払った

医療費総額で5万円以上の対象者数は44名(9.6%)、肝臓病の治療のために最近1年間に支払った医療費の総額で100万円以上の対象者数は9名(2.0%)で、10万円未満の対象者数193名(43.2%)、医療保険の種類について国民健康保険の対象者数(頻度)は、272名(61.3%)、年金の受給者の対象者数(頻度)は、416名(85.4%)、生活保護受給者数(頻度)は36名(7.1%)、肝機能障害による身体障害者手帳の取得者数は14名(2.8%)、生活保護受給者なし肝機能障害による身体障害者手帳の取得者の人数(頻度)は50名(9.9%)、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じているかを5つのカテゴリーに区分して尋ねたところ、大変苦しい78名(15.7%)、やや苦しい176名(35.3%)、普通228名(45.8%)、ややゆとり15名(3.0%)、大変ゆとり1名(0.2%)の人数(頻度)であった。

一方、平成28(2016)年度の厚生労働科学研究費補助金疾病障害対策研究分野肝炎等克服政策研究、B型・C型肝炎による肝硬変、肝がん患者における医療費等の実態調査研究班(主任研究者、伊藤澄信)において、レセプト情報をもとに算出された2015年度のC型肝炎感染による肝がん患者数は80320名、非代償性肝硬変患者数は35429名、2015年度のB型肝炎感染による肝がん患者数は22252名、非代償性肝硬変患者数は7713名の計145714名と報告されている(図56)。

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業での公費負担となる者は、既に3月以上(連続した3か月でなくても可)の場合に、4月目以降に都道府県知事が指定する指定医療機関に入院して高額療養費の算定基準額を超えた月に係る医療費に対し公費負担されることとなっている。

我が国のB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者数と肝がん患者数を145714名と仮定した場合、本研究班調査結果によると

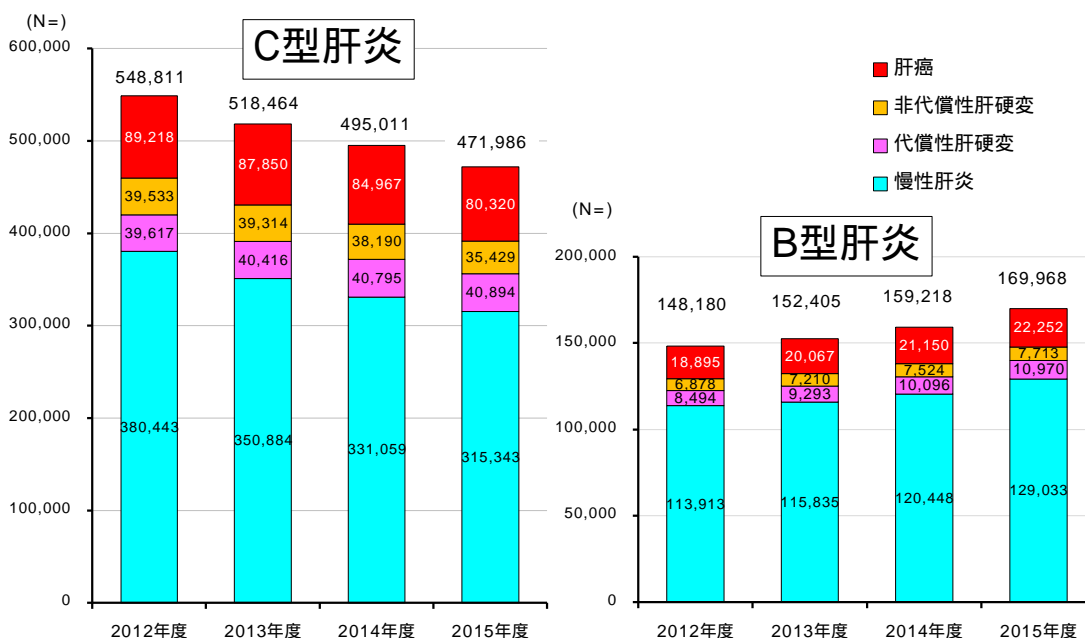


図56. National Database (NDB) 情報分析による
全国のC型肝炎、B型肝炎患者数の推移

B型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者数と肝がん患者で、かつ年収300万円以下が確認され、かつ入院回数3回以上の患者は907例中76例で頻度が8.4%であったことから、この頻度から算出すると12239名の患者が、今回の事業での公費負担対象と考えられた。なお、この対象者の中には公費負担対象外である生活保護受給者ないし肝機能障害による身体障害者手帳の取得者（本研究調査結果から、その頻度は9.9%）が含まれることも考慮しなければならない。

E . 結論

肝がん・重度肝硬変治療研究促進事業の対象となるB型肝炎ウイルス又はC型肝炎ウイルスによる肝がん又は重度肝硬変の患者の実態について明らかにする為に、2012年2月1日～7月31日までの期間に、34施設に通院治療を行っているB型、C型肝炎ウイルスに起因する慢性肝炎、肝硬変、肝がんの患者及び脂肪肝やその他の肝疾患の患者6331名を対象とした患者アンケート調

査結果の再分析をおこなった。

6331名中、B型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者数は349名（5.5%）と肝がん患者数は558名（8.8%）であり、計907名（14.3%）の背景因子を解析した。907名を背景因子の中で年収が明らかな779名の中で年収300万円以下の条件で絞り込むと507名（65.1% = 507/779）が抽出された。

年収300万円以下が確認されたB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者と肝がん患者を合わせた対象者（507名）の実態は、平均年齢は、70.3歳、最近1年間の入院回数で3回以上の対象者数（頻度）は76名（15.7%）、最近1年間の通院回数で週1回以上の対象者数は75名（16.2%）、肝臓病の治療のために最近1か月間に支払った医療費総額で5万円以上の対象者数は44名（9.6%）、肝臓病の治療のために最近1年間に支払った医療費の総額で100万円以上の対象者数は9名（2.0%）で、10万円未満の対象者数193名（43.2%）、医療保険の種類について国民健康保険の対象者数（頻度）は、

272名(61.3%)、年金の受給者の対象者数(頻度)は、416名(85.4%)、生活保護受給者数(頻度)は36名(7.1%)、肝機能障害による身体障害者手帳の取得者数は14名(2.8%)、生活保護受給者ないし肝機能障害による身体障害者手帳の取得者の人数(頻度)は50名(9.9%)、現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じているかを5つのカテゴリーに区分して尋ねたところ、大変苦しい78名(15.7%)、やや苦しい176名(35.3%)、普通228名(45.8%)、

ややゆとり15名(3.0%)、大変ゆとり1名(0.2%)の人数(頻度)であった。

我が国のB型、C型肝炎ウイルスに起因する非代償性肝硬変患者数と肝がん患者数を145714名と仮定して、年収300万円以下であること、入院回数で3回以上、これらの2つの条件を満たす者の頻度を8.4%として算出すると12239名の患者が、今回の事業での公費負担対象と考えられた。

(参考資料) (図44～55)

A-2 あなたの出生年月を教えてください(→平均年齢)

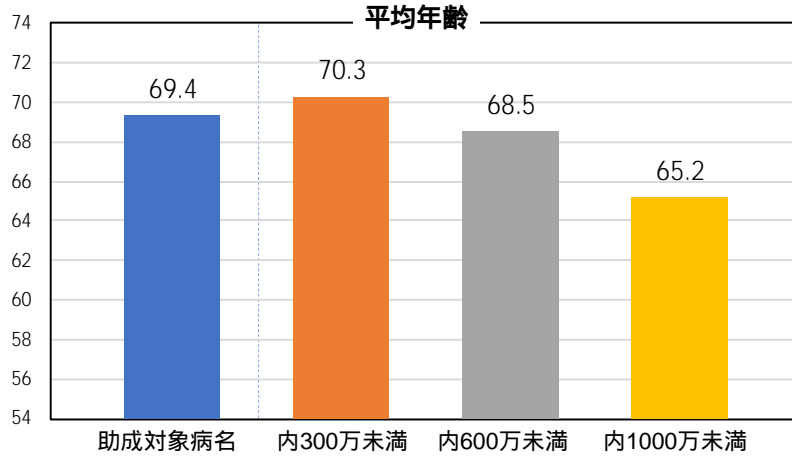
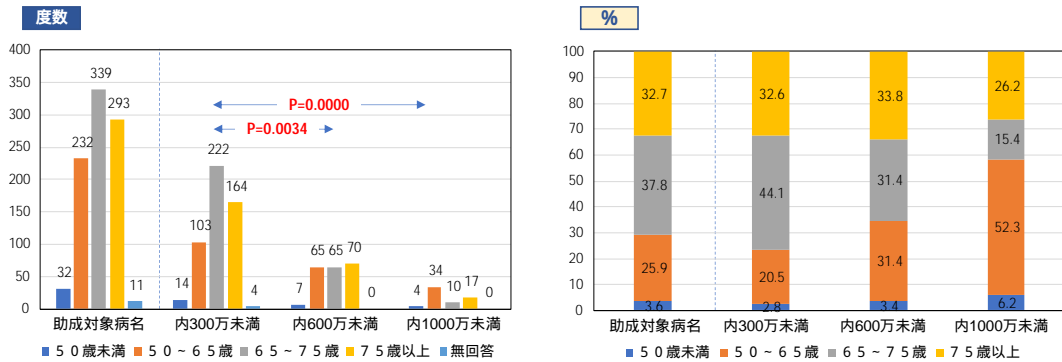


図44.平均年齢

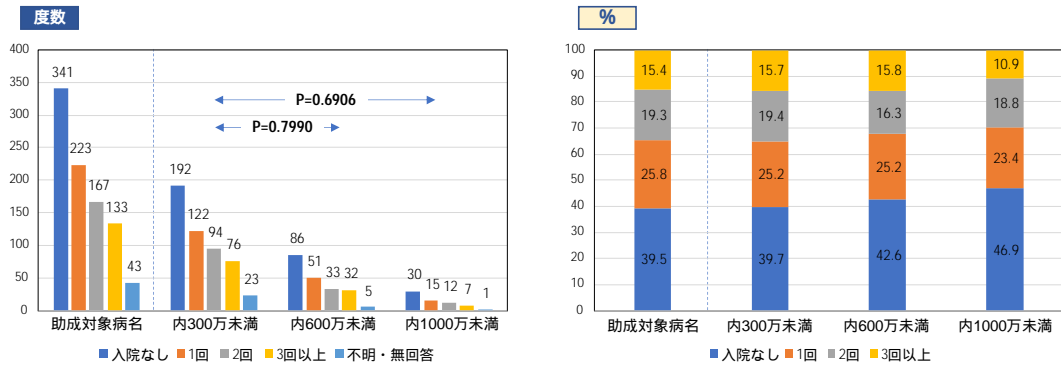
A-2 あなたの出生年月を教えてください(→年代分布)



	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満
50歳未満	32	14	7	4	3.6	2.8	3.4	6.2
50～65歳	232	103	65	34	25.9	20.5	31.4	52.3
65～75歳	339	222	65	10	37.8	44.1	31.4	15.4
75歳以上	293	164	70	17	32.7	32.6	33.8	26.2
無回答	11	4	0	0				
総計	907	507	207	65	100.0	100.0	100.0	100.0
平均年齢	69.4	70.3	68.5	65.2				

図45.年代分布

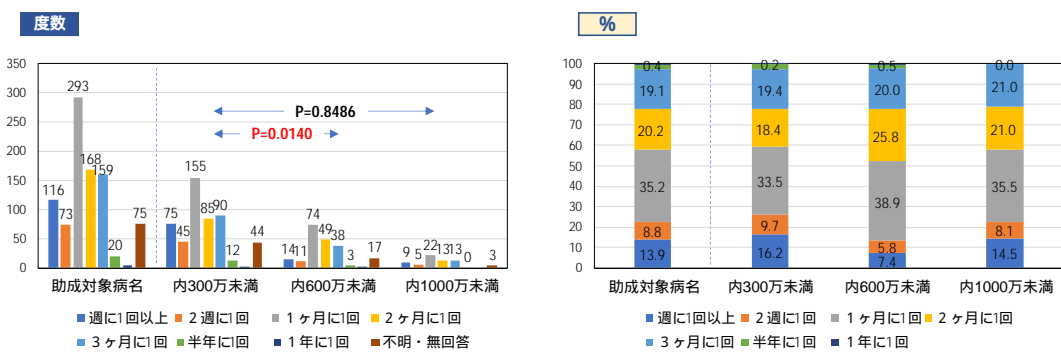
B-4-1 最近1年間で、何回入院しましたか(→入院回数分布)



	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満
入院なし	341	192	86	30	39.5	39.7	42.6	46.9
1回	223	122	51	15	25.8	25.2	25.2	23.4
2回	167	94	33	12	19.3	19.4	16.3	18.8
3回以上	133	76	32	7	15.4	15.7	15.8	10.9
不明・無回答	43	23	5	1				
総計	907	507	207	65	100.0	100.0	100.0	100.0

図46.入院回数分布

B-4-2 最近1年間は、どれくらいの通院頻度でしたか(→通院頻度分布)



	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満
週に1回以上	116	75	14	9	13.9	16.2	7.4	14.5
2週に1回	73	45	11	5	8.8	9.7	5.8	8.1
1ヶ月に1回	293	155	74	22	35.2	33.5	38.9	35.5
2ヶ月に1回	168	85	49	13	20.2	18.4	25.8	21.0
3ヶ月に1回	159	90	38	13	19.1	19.4	20.0	21.0
半年に1回	20	12	3	0	2.4	2.6	1.6	0.0
1年に1回	3	1	1	0	0.4	0.2	0.5	0.0
不明・無回答	75	44	17	3				
総計	907	507	207	65	100.0	100.0	100.0	100.0

図47.通院頻度分布

B-4-3 肝臓病の治療のために最近1ヶ月間で支払った医療費総額はいくらでしたか

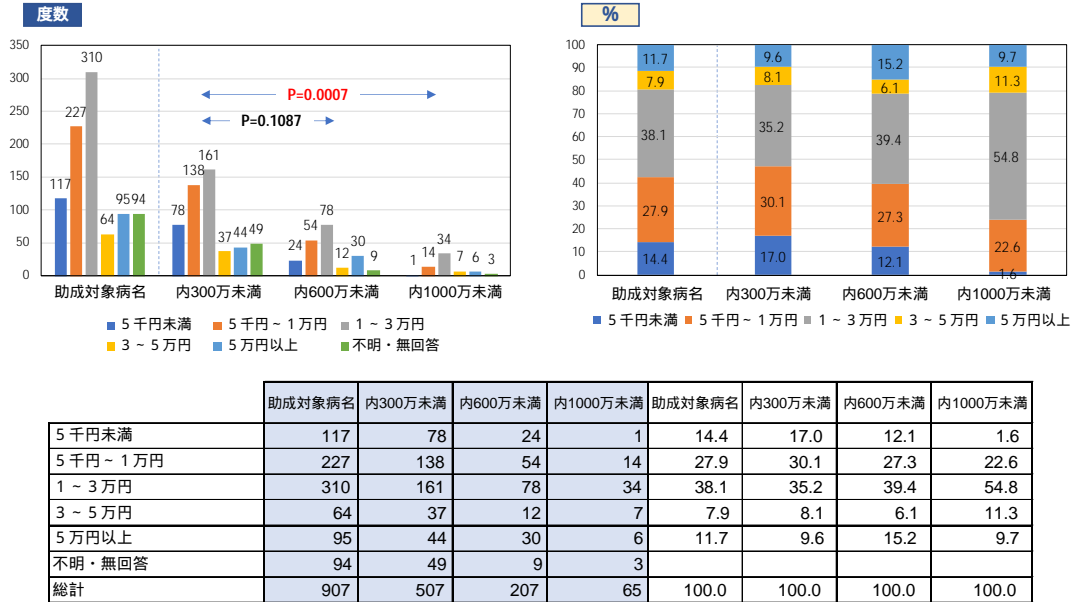


図48.ひと月医療費総額

B-4-4 肝臓病の治療のために、最近1年間で支払った医療費の総額はいくらです

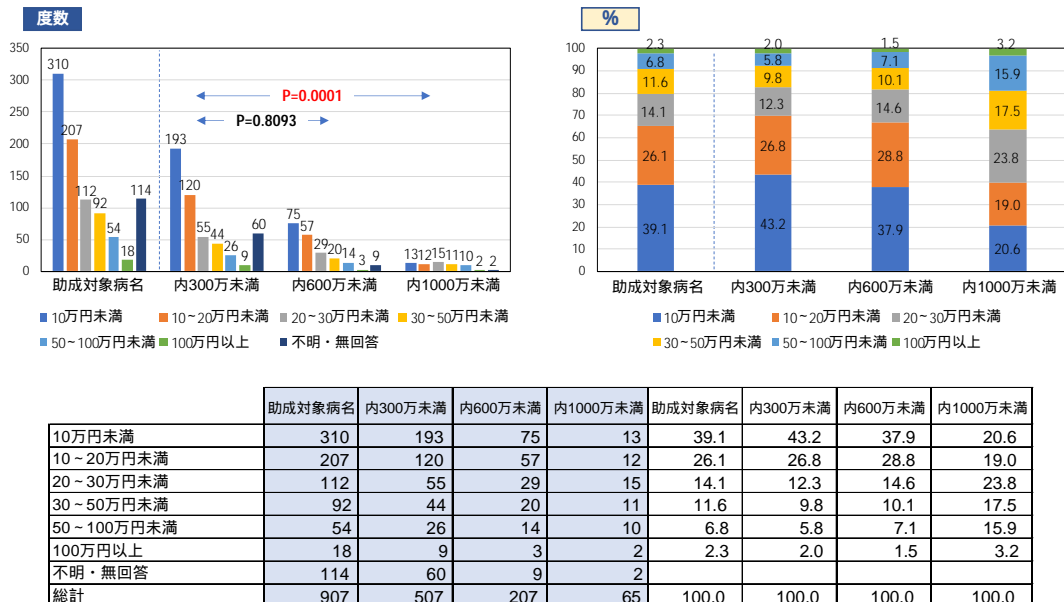


図49.1年医療費総額

F-16 あなたの加入している医療保険はどれですか

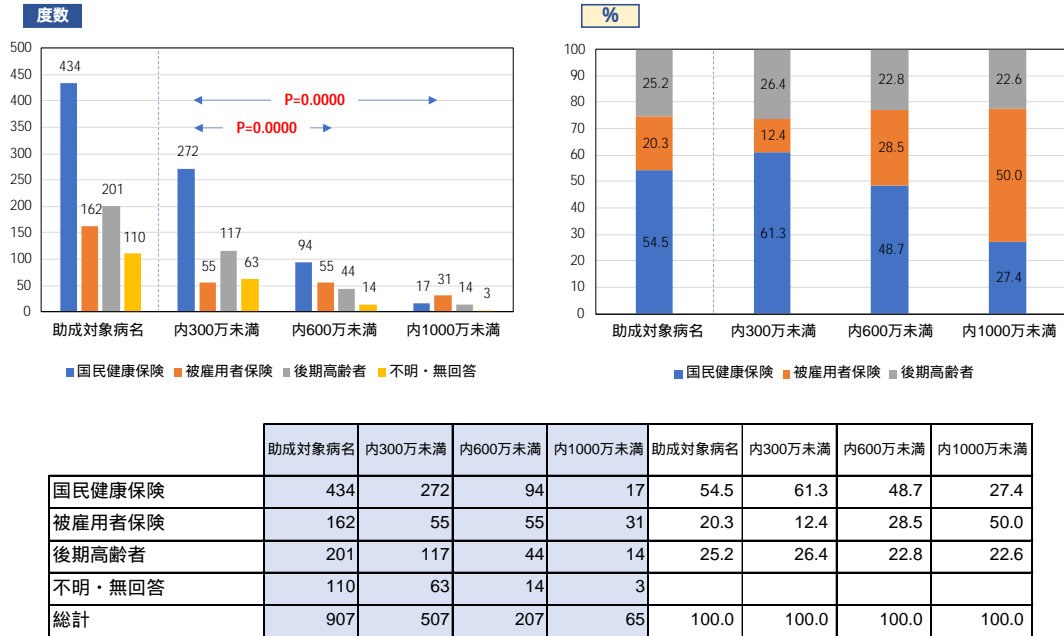


図50.医療保険

F-17 年金を受給されていますか

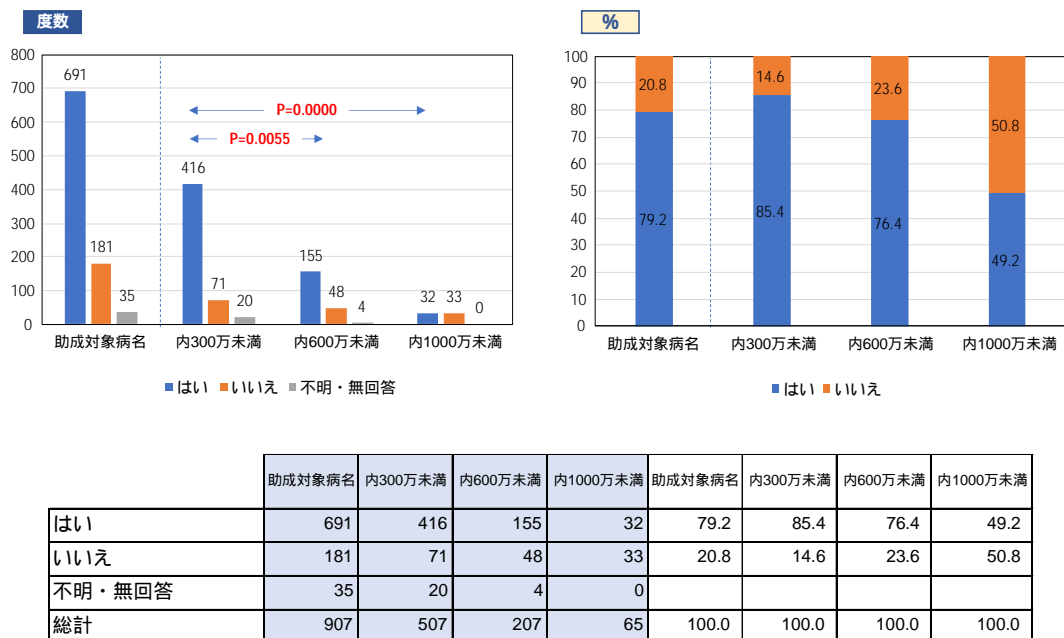
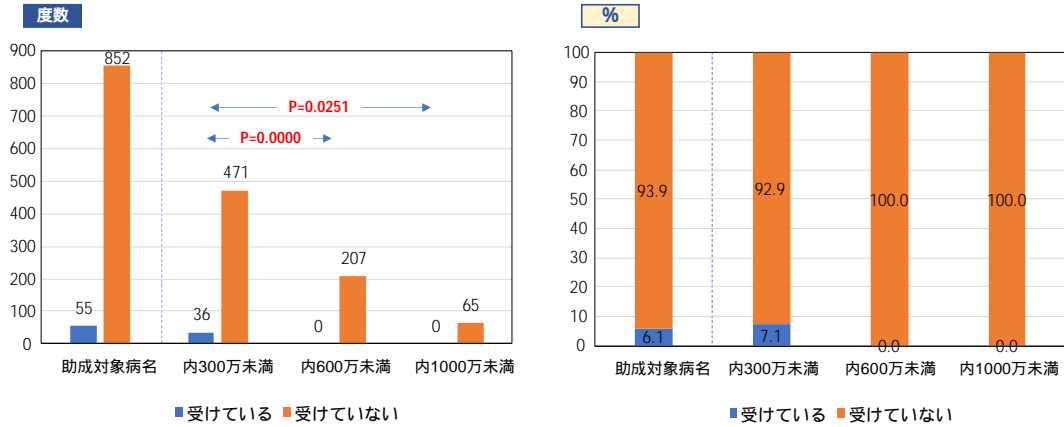


図51.年金受給

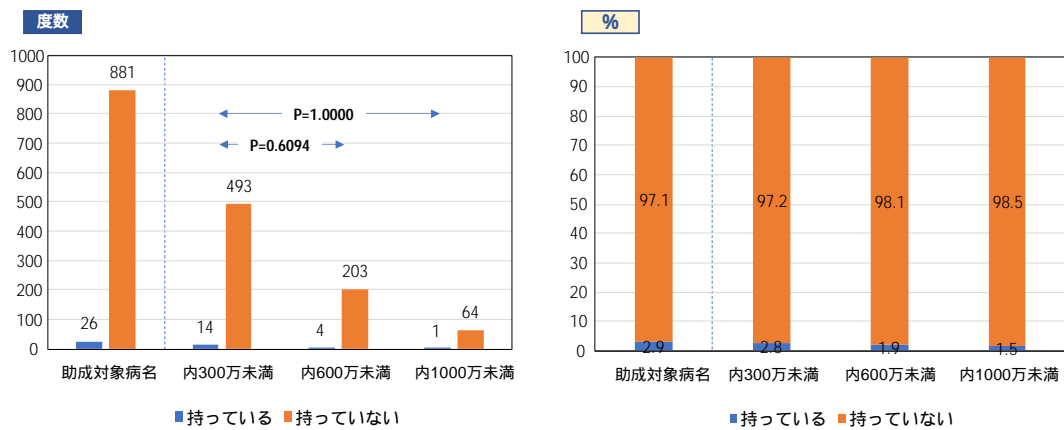
F-15 生活保護は受けていますか



	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満
受けている	55	36	0	0	6.1	7.1	0.0	0.0
受けていない	852	471	207	65	93.9	92.9	100.0	100.0
総計	907	507	207	65	100.0	100.0	100.0	100.0

図52.生活保護受給

D-8 現在、肝機能障害による身体障害者手帳をおもちですか



	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満	助成対象病名	内300万未満	内600万未満	内1000万未満
持っている	26	14	4	1	2.9	2.8	1.9	1.5
持っていない	881	493	203	64	97.1	97.2	98.1	98.5
総計	907	507	207	65	100.0	100.0	100.0	100.0

図53.身体障害者手帳保有者

F-15+D8 生活保護受給者+身障手帳所有者

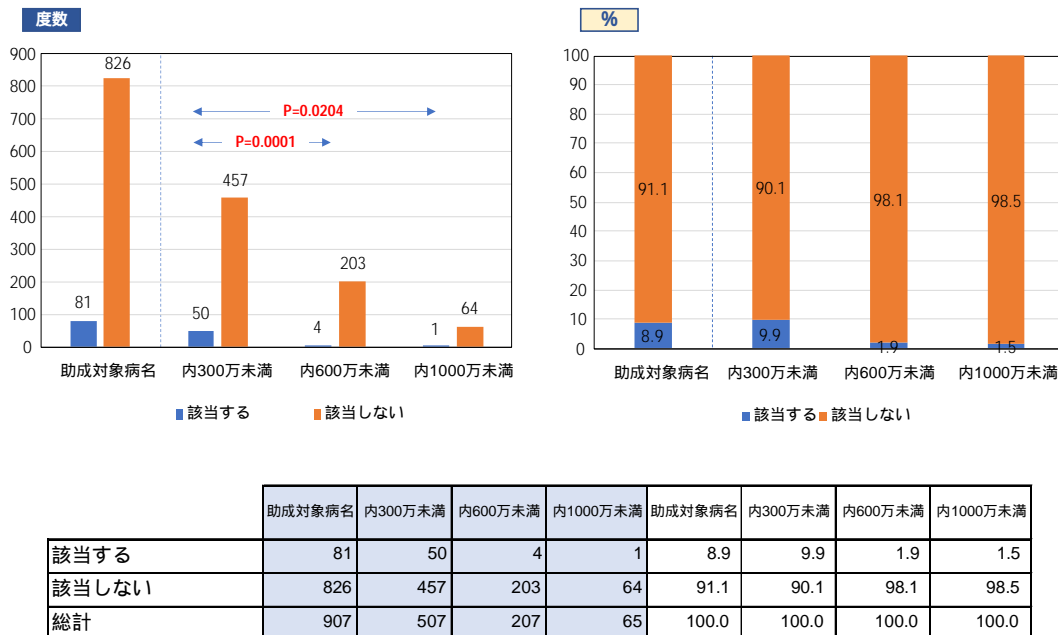


図54.生活保護受給者+身体障害者手帳所有者

A-14 現在の暮らしの状況を総合的にみて、どう感じていますか

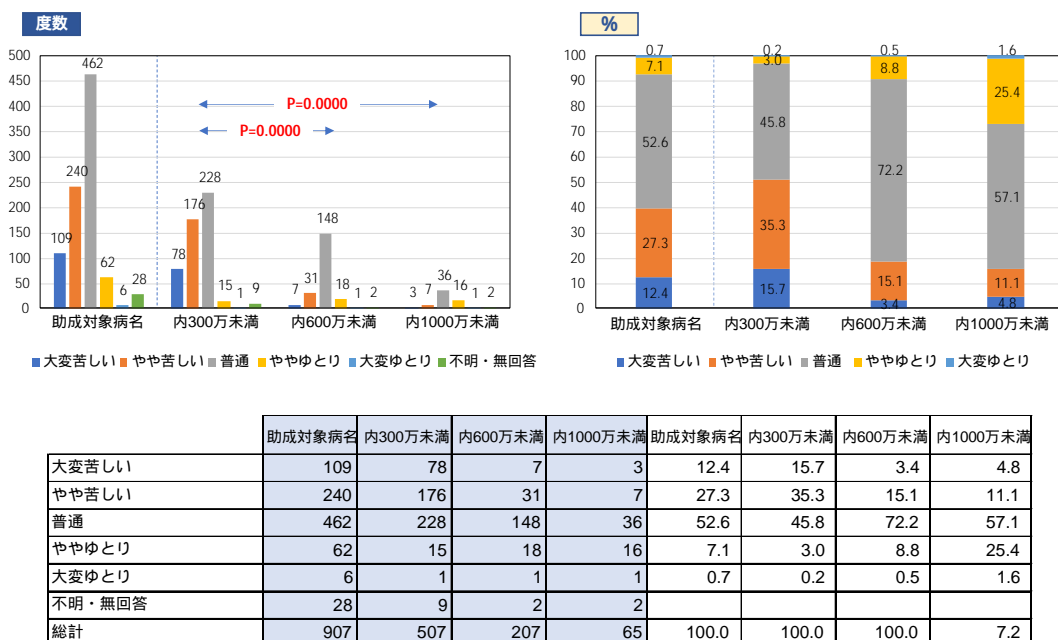


図55.現在の暮らしの状況